SONY®

3-858-897-01 (1)

トリニトロン® カラーテレビ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

操作編

準備編

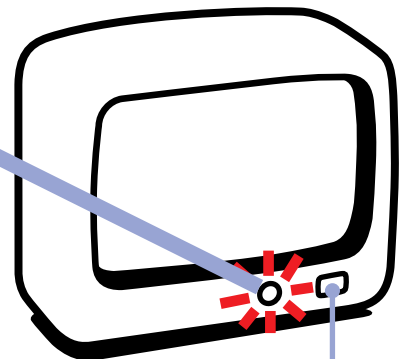
その他

KV-32FW5

テレビ、衛星放送を見る

1

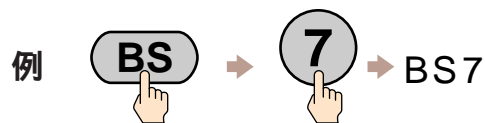
赤いスタンバイ／スリープランプまたは電源ランプがついているか確認する。

ついていないときは本体の電源スイッチを押します。

2

チャンネルを選ぶ。

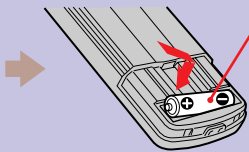
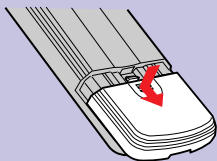
ボタンを押すと、自動的にテレビがつきます。
衛星放送（BS）を見るには、数字ボタン⑬〜⑮を押します。
本機はMUSE-NTSCコンバーター*を内蔵しているので、
ハイビジョンチャンネル（BS9）も見ることができます。

チャンネル＋／－ボタンを押すと、①〜⑮の放送が順に映ります。
衛星放送（BS）は、BSボタンを使って見ることもできます。

例

3

音量を調整する。

・スタンバイ／スリープランプがついているときは、緑色表示のボタンを押すと自動的にテレビがつきます。
（チャンネルポン機能／インデックスポン機能）
・有料の衛星放送（WOWOWなど）を見るときは、「有料の衛星放送を見る」をご覧ください（☞33ページ）。
＊の付いた用語は用語集をご覧ください。☞66ページ。

リモコンに乾電池を入れるには

単3形乾電池（付属）
必ずイラストのように
⊖極側から電池を入れ
てください。

ワイド画面を楽しむ（オートワイド）

画像に応じて、最適なワイド画面でお楽しみいただけます。本機が画像の種類を判断して、下記のように、ワイド画面に自動的に切り換えます。
（オートワイド機能）

オートワイドのときは

・ワイドクリアビジョン放送識別信号、S-1方式*（S映像入力のとき）、ID-1方式*（S映像／映像入力のとき）の3つの識別信号を自動的に判別してワイド画面にします。
・ワイドクリアビジョン放送を受信すると、自動的にズーム画面に切り換わります。
・放送によっては「4：3映像」をノーマルに切り換えるための識別信号を送っている場合があり、このときは自動的にノーマル画面に切り換わります。

ワイド画面に関して

・このワイド画面テレビは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差がでます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
・このワイド画面テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き画面モード切り換え機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
・ワイド映像でない従来の4:3の映像を、ワイドズームモードを利用してワイド画面テレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像はノーマルモードでご覧になれます。

*のついた用語は用語集をご覧ください。☞66ページ

オートワイドが働いていない（切）ときの画像	画面モードの種類	オートワイドが働いているときの画像

通常のテレビ放送

（メニュー操作で「オートワイド」を「2」、「4：3映像」を「ワイドズーム」に設定した場合：☞6ページ）

4:3の映像を16:9に拡大し、はみ出た部分を圧縮して画面の上下におさめます。

ワイドクリアビジョン放送

横長の映像をそのまま16:9に拡大します。

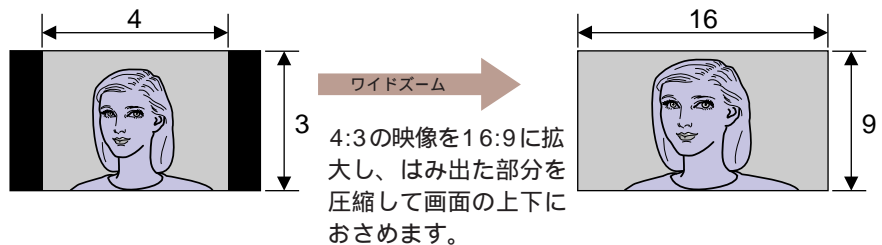
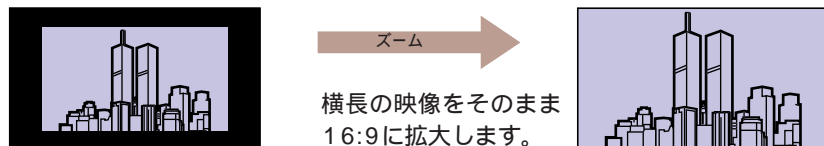
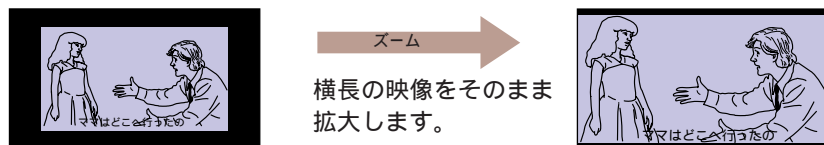
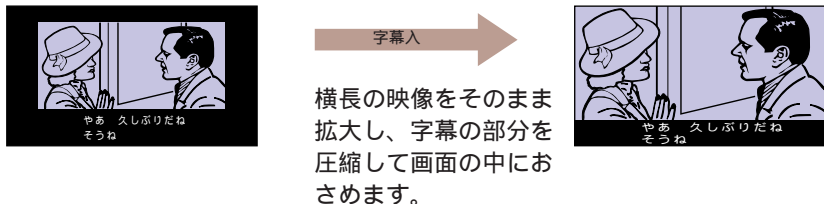
黒帯付きの映画

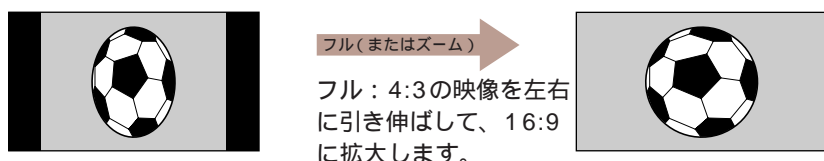
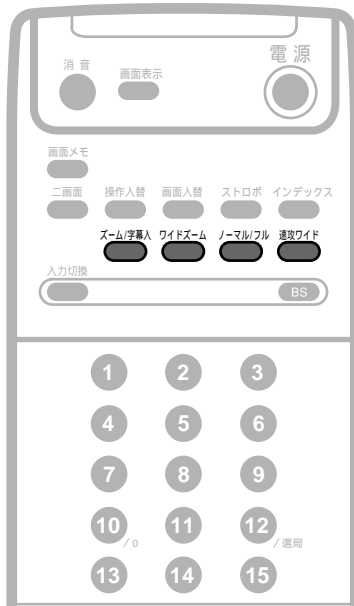
（字幕は映像の中）

横長の映像をそのまま拡大します。

黒帯付きの映画

（字幕は映像の外）

横長の映像をそのまま拡大し、字幕の部分を圧縮して画面の中におさめます。

S-1方式*やID-1方式*の識別信号が入った映像

フル：4:3の映像を左右に引き伸ばして、16:9に拡大します。

速攻ワイドで楽しむには

見ている画面を、すばやく最適なワイド画面に切り換えるには、**速攻ワイドボタン**を押します。押してからすぐに画面が切り換わります。

手動でワイド画面に切り換えるには

電波の受信状態や暗い部分が多い映像などでは、最適なワイド画面にならない場合があります。このときは手動でお好みのワイド画面に切り換えてください。ワイドズーム、ズーム／字幕入ボタンを押して、それぞれの画面に切り換えることができます。

●ワイドズーム

ワイドズームボタンを押します。

●ズーム／字幕入

ズーム／字幕入ボタンを押します。
ボタンを押すごとにズームと字幕入が入れ換わります。

オートワイドが正しく動作しないときは
手動でワイド画面に切り換えてください。

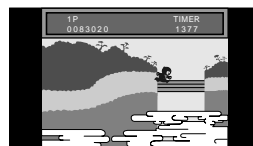
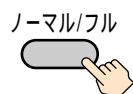
手動でワイド画面を切り換えたあと、オートワイドに戻るには

1 オートワイドを「2」に設定している（☞6ページ）とき、下記のボタンを押すと「1」になります。
・ワイドズームボタン
・ズーム／字幕入ボタン
・ノーマル／フルボタン

2 下記のことを行ったときはオートワイドの「2」に戻ります。
・チャンネルや入力を切り換える。
・電源を入／切する。

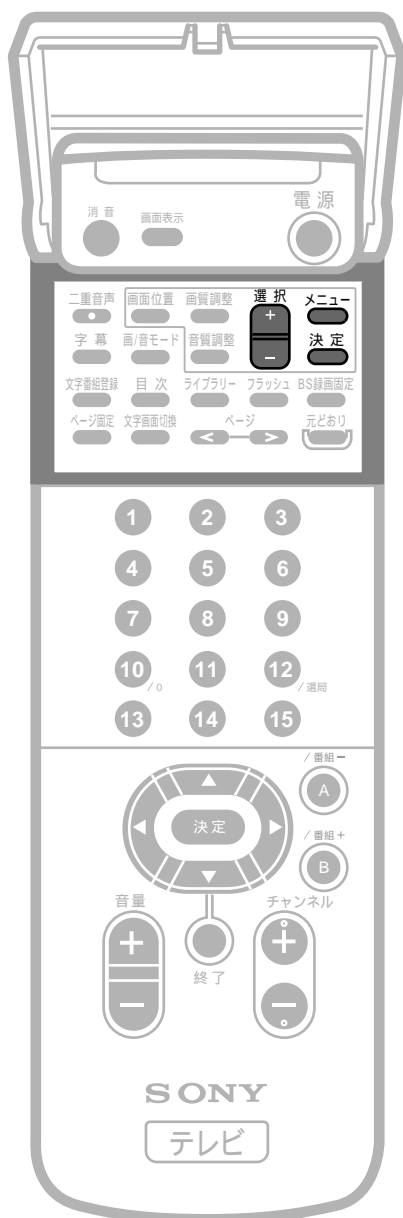
画面モードを固定しておくには
「オートワイド機能を働かせたくないときは」☞7ページ。

4:3（通常のテレビ画面）または横に拡大した画面を楽しむときは

ノーマル／フルボタンを押すごとにノーマルとフルが切り換わります。フルにすると、テレビゲームなどを迫力のある画面で楽しめます。

ノーマル（4:3の画面）

フル（左右に引き伸ばされた16:9の画面）

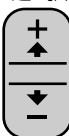
つづく

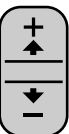
ワイド画面を楽しむ（つづき）

＊のついた用語は用語集をご覧ください。（☞66ページ）

オートワイドの設定

オートワイドの設定を「1」または「2」にしておくとワイドクリアビジョン放送やS-1方式＊、ID-1方式＊など識別信号の付いた画像は、個々の識別信号に対応したワイド画面（またはノーマル画面）に切り換えます（☞4ページ）。
また、オートワイド「2」にしておくと通常のテレビ放送やレンタルビデオの黒帯付き映画など識別信号のない画像を自動的に最適な画面モードに切り換えます。なお、この際通常のテレビ放送（4：3映像）をどう映すかをあらかじめ設定しておくことができます。

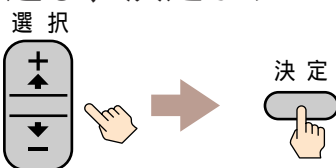
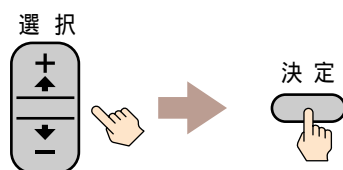
1 **メニューボタン押す。**

2 **選択＋／－ボタンを押して「画面モード」を選び、決定ボタンを押す。**

画面モード　戻る
▶ オートワイド：　1
4：3映像：ワイドズーム
ワイドズーム
ズーム
字幕入
フル
ノーマル

3 **選択＋／－ボタンを押して「オートワイド」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **選択＋／－ボタンを押して「1」または「2」を選び、決定ボタンを押す。**

オートワイド機能を働かせたくないときは
手順4で「切」を選びます。
識別信号の有無に関係なく、すべての映像を、現在選んでいる画面モードで映します。チャンネルや入力を切り換えたり、電源を入／切しても、画面モードは変わりません。

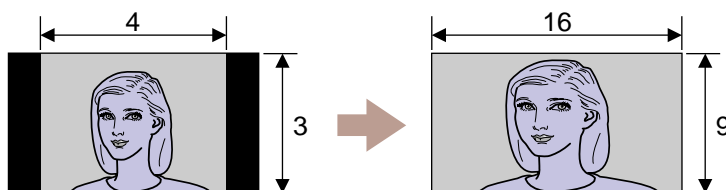
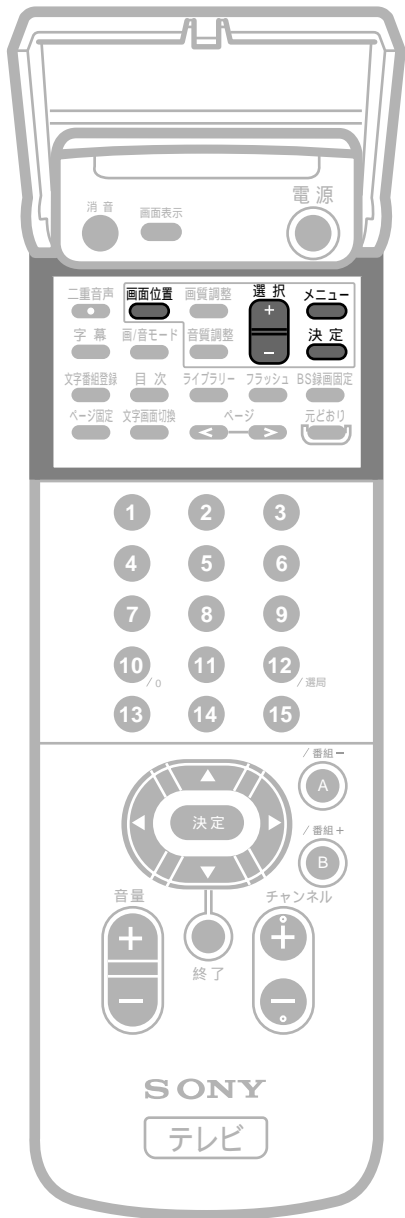
	通常のテレビ放送（4：3映像）は	黒帯付きの映画や映像は
「オートワイド」を「1」にすると	現在選んでいる画面モードで映ります。 速攻ワイドボタンを押したときだけ、手順6で設定する画面モード（「ノーマル」または「ワイドズーム」）へ切り換わります。	現在、選んでいる画面モードで映ります。
「オートワイド」を「2」にすると	つねに、手順6で設定した画面モード（「ノーマル」または「ワイドズーム」）へ自動的に切り換わります。	「ズーム」または「字幕入」モードへ自動的に切り換わります。

5 選択＋／−ボタンを押して「4：3映像」を選び、決定ボタンを押す。

6 選択＋／−ボタンを押して通常のテレビ放送（4：3映像）をどう映すかを選び、決定ボタンを押す。

通常のテレビ放送（4：3映像）は、次のように切り換わります。

「ノーマル」にすると
4：3の映像のまま映ります。

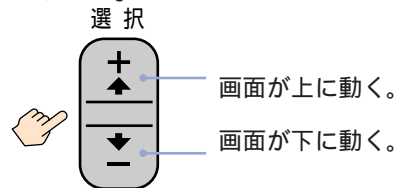
「ワイドズーム」にすると
4：3の映像を16：9に拡大し、はみ出た部分を圧縮して画面の上下におさめて映します

7 メニューボタンを押してメニューを消す。

操作編

ワイド画面を使いこなす

画面位置を上下に調整するには

以下のようなときは、画面を上下に動かしてください。
●**ワイドズーム画面で**画面の上または下が欠けるとき。
●**ズーム画面で**画面を見やすい位置にしたいとき。
●**字幕入画面にしても**字幕が画面に入りきらないとき。
ワイドズーム、ズーム、字幕入のそれぞれの画面について設定できます。

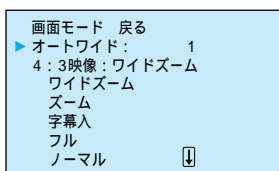
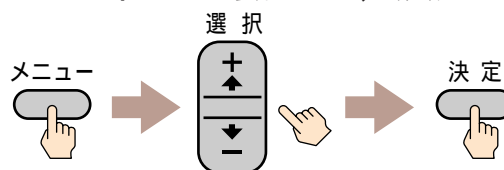
1 **画面位置ボタンを押す。**

2 **選択＋／－ボタンを押して画面の位置を調整する。**

3 **画面位置ボタンを押す。**

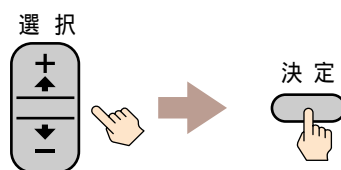
映像を縦方向に伸ばしたり縮めたりするには

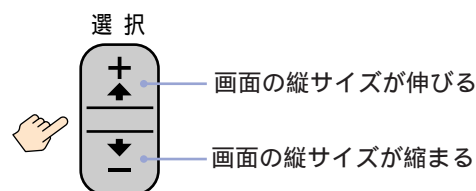
この操作は、**ワイドズーム、ズーム、字幕入画面**のときに行うことができます。ワイドズーム、ズーム、字幕入のそれぞれの画面について設定することができます。

1

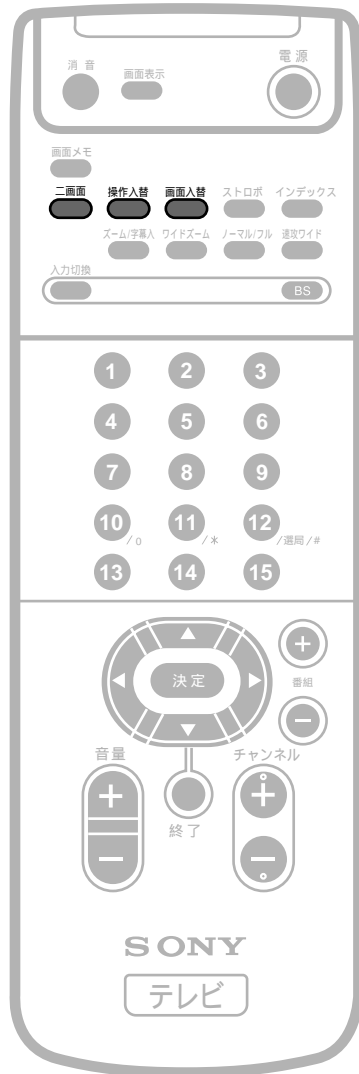
メニューボタンを押してメニューを出し、選択＋／－ボタンを押して▶を「画面モード」の位置に動かし、決定ボタンを押す。

2

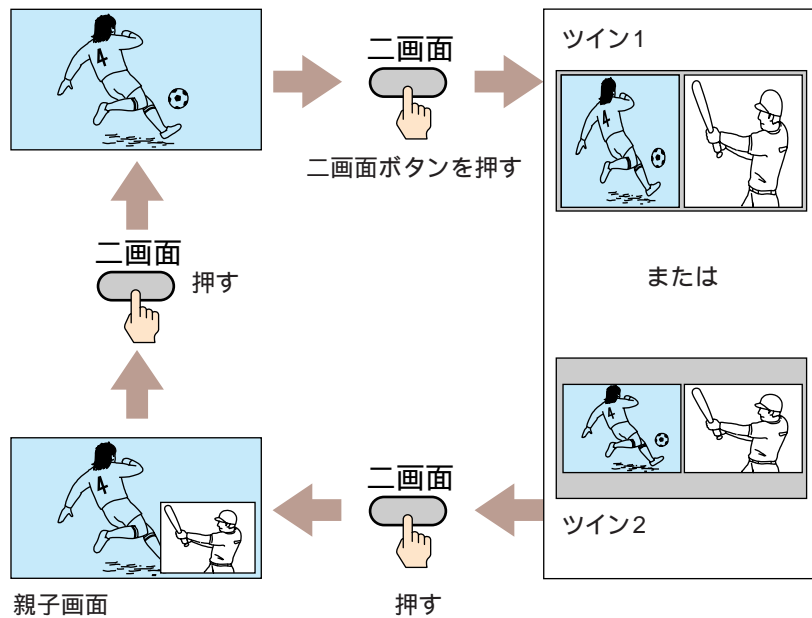
選択＋／－ボタンを押して「縦サイズ」を選び、決定ボタンを押す。

▶を「ノーマル」より下に移動させると、「画面モード」の次画面が現れ、「縦サイズ」がでてきます。

3

選択＋／－ボタンを押して調整する。

4

メニューボタンを押してメニューを消す。

二画面で見る (ツインピクチャー機能)

ツインピクチャーまたは親子画面を使って2つのチャンネルを同時に見ることができます。また、ツインピクチャー機能でスピーカーとヘッドホンを使い、二種類の音が楽しめます。

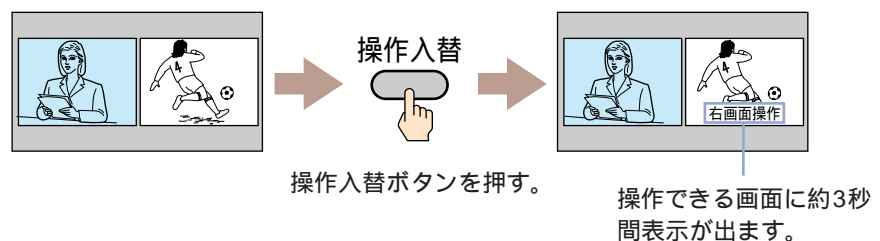
二画面にする

ツイン1とツイン2の切り換えについては☞13ページ。

操作できる画面を切り換える

二画面のままテレビの電源を切り、その後再び電源を入れると
自動的に一画面に戻ります。

ツインピクチャーや親子画面に切り換えた直後は
常に左画面または親画面が操作できる画面になります。

ツイン1またはツイン2のとき

操作入替ボタンを押してください。
音量調節、チャンネル切換、入力切換ができます。

スピーカーからは操作できるほうの画面の音声が出ます。
ヘッドホンをつないでいるときは☞12〜13ページ。

二画面で見られない組み合わせ
VHF/UHFの同一チャンネル、BSの同一チャンネル、同一ビデオ入力、BSの別々のチャンネル、ハイビジョン放送とMUSE入力を同時に見ることはできません。
ただし、BSチューナーのついたビデオデッキを使うと、ビデオ入力の画面でBSを見ることができます。

右画面でモジネット*を見ているときは
画面入替はできません。

親子画面を見ていたあとで一画面に戻ると
親子画面のときの親画面が映ります。

左画面または親画面を録画することができます
本体裏面のビデオ出力端子からは左画面または親画面の映像／音声信号が出力されます。ビデオの接続については☞56〜57ページ。
二画面を同時に録画することはできません。

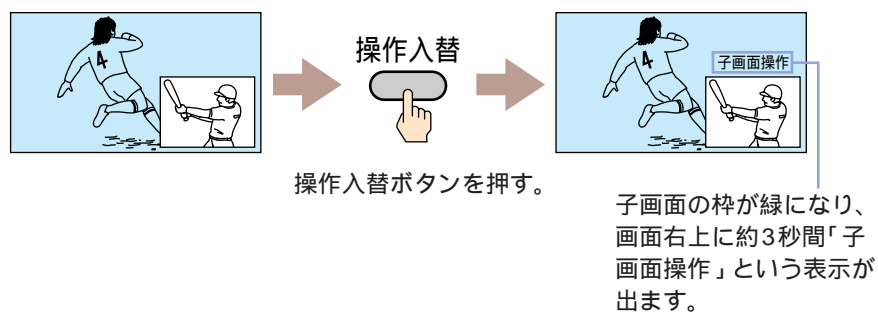
左画面または親画面の放送が終了したときは
約10分後に自動的にスタンバイモードになります。

＊の付いた用語は用語集をご覧ください。☞66ページ。

親子画面のときに子画面の操作をするには

操作入替ボタンを押してください。
音量調節、チャンネル切換、入力切換ができます。

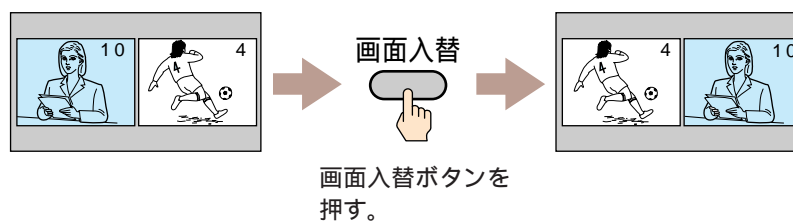
操作入替ボタンを押す。

子画面の枠が緑になり、画面右上に約3秒間「子画面操作」という表示が出ます。

スピーカーからは操作画面の音声が出ますが、ヘッドホンをつないでいるときは☞12〜13ページ。

親画面／左画面操作に戻すには

操作入替ボタンをもう一度押してください。

左右（または親子）の画面の位置を入れ替える

画面入替ボタンを押す。

子画面の位置を変えるには

1 メニューボタンを押す。
2 選択＋／－ボタンを押して「二画面」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／－ボタンを押して「子画面位置」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／－ボタンを押して「左」または「右」を選び、決定ボタンを押す。
5 メニューボタンを押してメニューを消す。

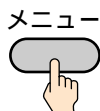
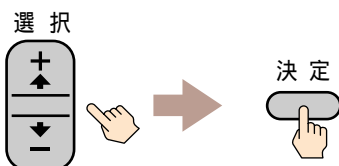
つづく

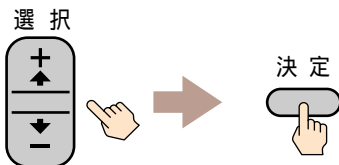
操作編

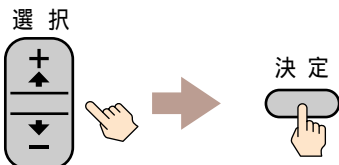
二画面で見る（つづき）

ヘッドホンで音声を聴くには

ヘッドホンを使って二画面の音声を聴くことができます。状況に応じてヘッドホンモードを切り換えてお楽しみください。

1 **メニューボタンを押す。**

2 **選択＋／ーボタンを押して▶を「二画面」の位置に移動し、決定ボタンを押す。**

二画面　戻る
▶ 二画面：　　　ツイン
ツイン選択：ツイン1
操作入替：左画面操作
子画面位置：　　　左
ヘッドホンモード：1
画面入替

3 **選択＋／ーボタンを押して「ヘッドホンモード」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **選択＋／ーボタンを押して「1」または「2」を選び、決定ボタンを押す。**

次ページの表を見てヘッドホンモードを選んでください。

5 **メニューボタンを押してメニューを消す。**

ヘッドホンを抜くと

・「ヘッドホンモード：2」のときは、それまでスピーカーから出ていた音声が出ます。「ヘッドホンモード：1」のときはヘッドホンで聴いていた音声が出ます。
・ツインピクチャーで「ヘッドホンモード：2」にしてご覧になっていたときに、ヘッドホンを抜くとそれまでスピーカーから音声が出ていたほうの画面が操作画面になります。

外部スピーカーをつないでいるときは

「ヘッドホンモード：2」のときは、本体裏面の音声出力端子からはテレビのスピーカーと同じ音声が出力されます。
「ヘッドホンモード：1」のときは操作できる画面の音声が出力されます。

VHF／UHFの音声について

VHF／UHFを右画面または子画面で見ているときは音声はモノラルになります。
音声出力端子から出力される場合もモノラルです。
二重音声ボタンは働きません。

二画面のとき

	スピーカー	ヘッドホン	操作画面を入れ替えると
ヘッドホンをつないでいるとき			
ヘッドホンモード1	音声なし	操作画面の音声	音声も入れ替わる
ヘッドホンモード2	初めの操作画面の音声*1	もう一方の画面の音声*2	音声は変らない
ヘッドホンをつないでいないとき	操作画面の音声	ー	音声も入れ替わる

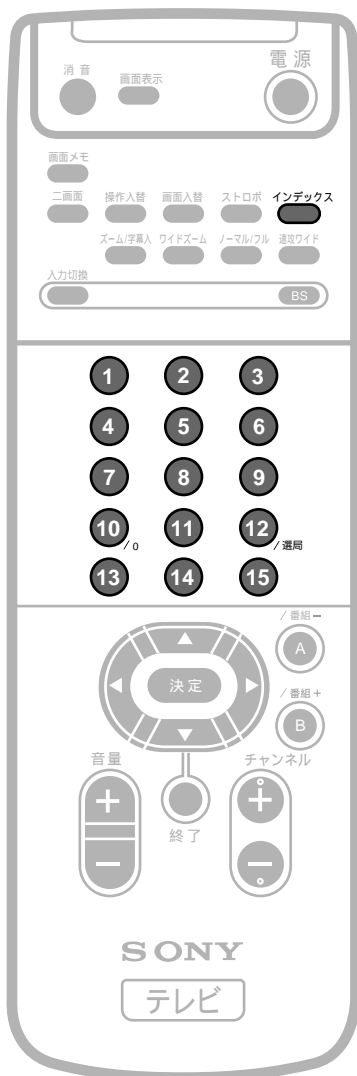
＊1 音量を調節したいときは、スピーカーで音声を聴いている画面を操作できるようにしてください（「操作できる画面を切り換える」☞10ページ）。
＊2 音量を調節したいときは、ヘッドホンで音声を聴いている画面を操作できるようにしてください（「操作できる画面を切り換える」☞10ページ）。

一画面（通常の画面）のとき

	スピーカー	ヘッドホン
ヘッドホンをつないでいるとき（ヘッドホンモードはなし）	音声なし	見ている画面の音声

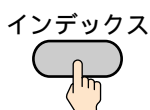
ツイン1またはツイン2を切り換えるには

1 メニューボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「二画面」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「ツイン選択」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／ーボタンを押して「ツイン1」または「ツイン2」を選び、決定ボタンを押す。
5 メニューボタンを押してメニューを消す。

チャンネルを一覧表示する

チャンネルインデックス機能を使って、設定されているすべてのチャンネルを順番に画面に映し出すことができます。次に見たい番組を確認したり、チャンネルを選ぶときに便利です。この機能を使う前にあらかじめ、チャンネル設定をしておいてください。（「チャンネルを自動設定する」☞46ページ。）

1

インデックスボタンを押す。

画面が13画面（または9画面）表示になり、それまで見ていたチャンネルが中央に表示されます。あらかじめ設定されているすべてのチャンネルが左上から時計回りに順番に映し出されます。

それまで見ていたチャンネル

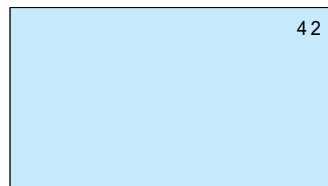
チャンネルの数がインデックス画面の数よりも多い場合は、左上の画面に戻り前のチャンネルにかぶせて表示されていきます。最後のチャンネル表示が終わったあとは、左上の画面に戻り最初のチャンネルから表示動作を繰り返します。

2

チャンネル数字ボタンを押してチャンネルを選ぶ。

例1）10チャンネルを選ぶ

例2）42チャンネルを選ぶ

42チャンネルがチャンネル数字ボタンの5に設定されているときは、「5」を押します。

（チャンネルインデックス機能）

BSチャンネルについて
- BS録画固定時は固定されたチャンネルのみインデックス画面に表示されます。BS録画固定については「衛星放送を録画する」☞37ページ。
- 中央の画面にBSが映っている時は、BSはそのチャンネルのみインデックス画面に表示されます。
- 中央の画面にMUSE入力の映像が映っているときは、ハイビジョン放送はデコードされない状態でインデックス画面に表示されます。
- 有料BSチャンネルはスクランブル*がかかったままインデックス画面に表示されることがあります。

中央の画面の放送が終了したときは
約10分後に自動的にスタンバイモードになります。

ご注意
- チャンネルインデックス中は画面モード（ワイドズームなど。☞4ページ）を切り換えたり、2画面（☞10ページ）にすることはできません。
- モジネット、画面メモを見ているときはチャンネルインデックスをすることはできません。
- チャンネルインデックス画面を録画することはできません。チャンネルインデックス中は中央の画面の映像／音声のみ本体裏面のビデオ出力端子から出力されます。

＊の付いた用語は用語集をご覧ください。☞66ページ。

インデックス画面の数（13画面または9画面）を選ぶには

（お買い上げ時は13画面に設定されています）

1 本体の設定ボタンを押す。
2 選択＋／－ボタンを押して「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／－ボタンを押して「インデックス画面」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／－ボタンを押して「13画面」または「9画面」を選び、決定ボタンを押す。

5 設定ボタンを押してメニューを消す。

チャンネルインデックスを途中でやめるには

インデックスボタンをもう一度押します。チャンネルインデックスを始める前の画面に戻ります。また、チャンネル＋／－ボタン、入力切換ボタンを押すとチャンネルインデックスは解除され、選んだチャンネル／入力に切り換わります。

インデックスポン機能

スタンバイランプが点灯しているときにインデックスボタンを押すと、テレビの電源が入り、チャンネルインデックス画面が表示されます。
あらかじめ見たい番組が決まっていないときなどに使うと便利な機能です。

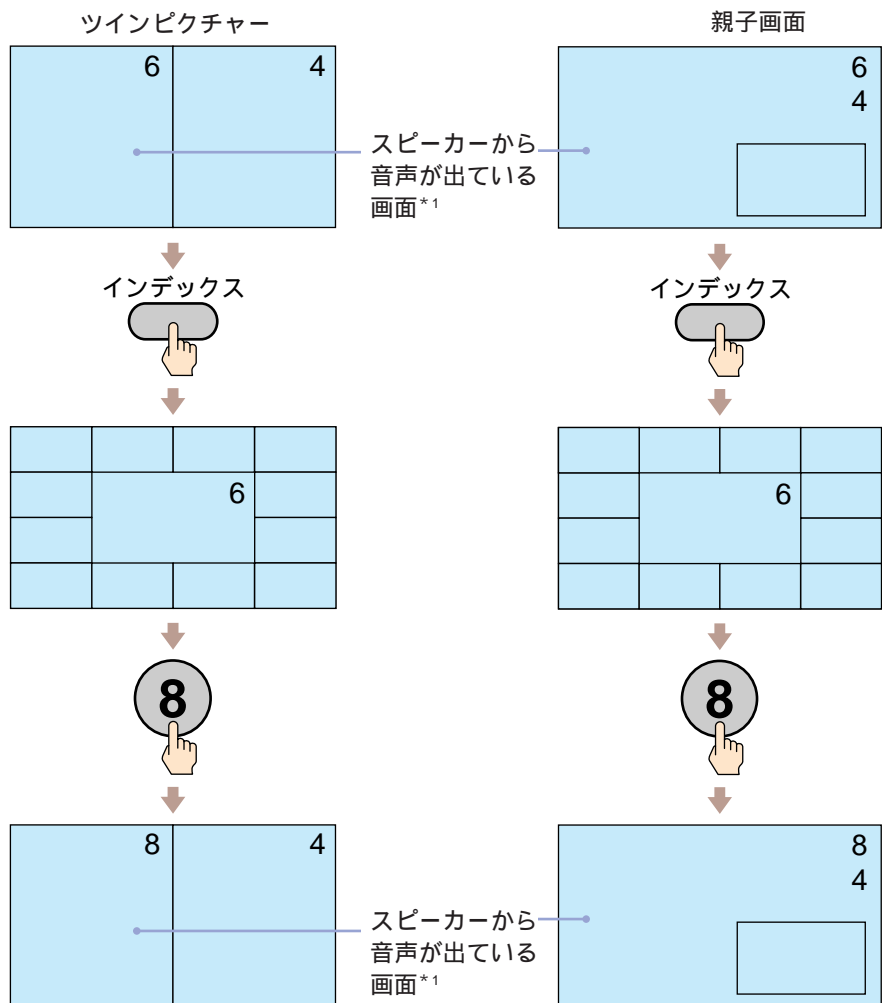
インデックス画面の画面モードについて
オートワイド設定（☞6ページ）にしたがって変わります。
「4：3映像：ノーマル」のときは4：3の画面で表示されます。
「4：3映像：ワイドズーム」のときは画面いっぱいに表示されます。

つづく

チャンネルを一覧表示する（つづき）

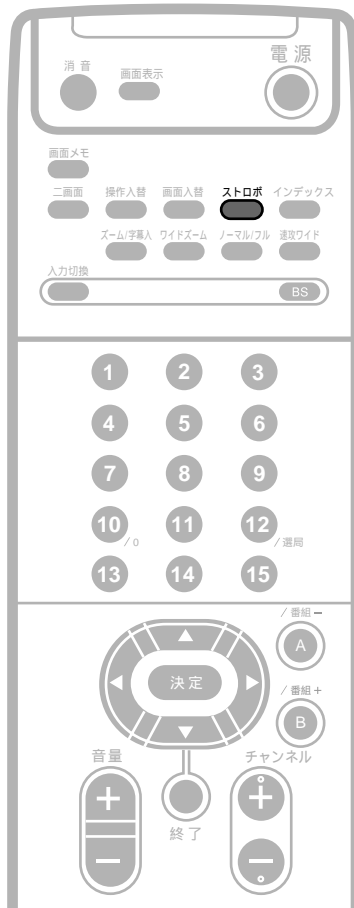
二画面時にチャンネルインデックスする

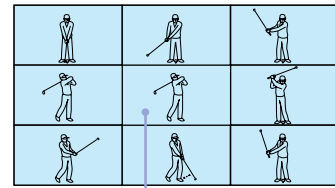
二画面（ツイン1／2、親子画面）のときにインデックスボタンを押すと、下記のように画面が切り換わります。

二画面同時に同じチャンネルを映すことはできません。

録画中にインデックスボタンを押すと
ツインピクチャーの左画面または親子画面の親画面を録画しているときにインデックスボタンを押すと、チャンネル切り換えをしなくても録画されるチャンネルが切り換わることがありますのでご注意ください。

*1 「ヘッドホンモード：1」（スピーカーから音声は出ません。☞13ページ）にして、ヘッドホンで音声を聴いているときは、ヘッドホンで音声を聴いている方の画面。

連続映像を見る（ストロボ機能）

操作編

連続した画面を8コマの静止画で見ることができます。
ゴルフのスイングなどを分析するのに便利です。

ストロボボタンを押す。

それまで映っていた画面が
引き続き映ります。（動画）

もとの画面に戻すには

ストロボボタンをもう一度押してください。

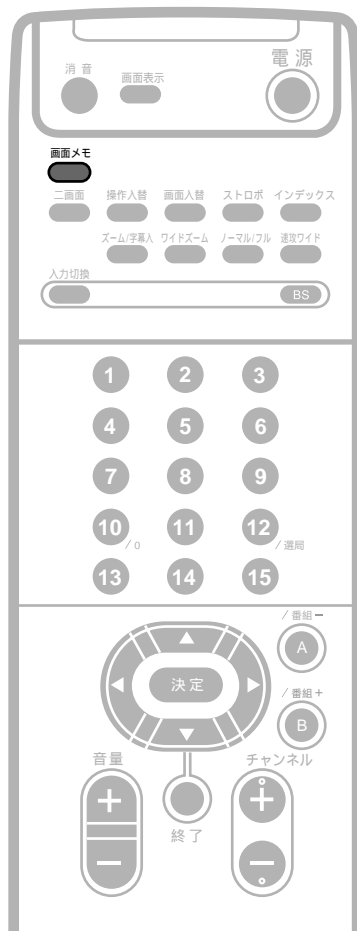
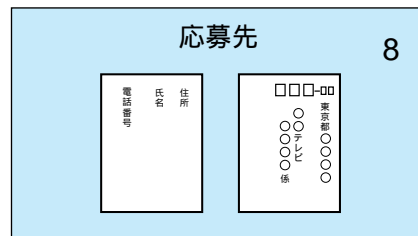
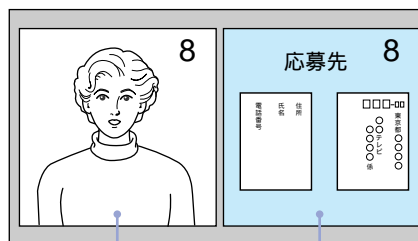
ストロボの間隔を変更するには

1 メニューボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「各種切換」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「ストロボ」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／ーボタンを押して「0.5秒」、「1秒」、「2秒」、「4秒」、「8秒」の中からお好きな間隔を選ぶ。
メニューの秒数は8コマを表示するのにかかる時間です。
5 メニューボタンを押してメニューを消す。

中央の画面の放送が終了したときは
約10分後に自動的にスタンバイモードになります。

ご注意
・ 二画面、画面メモ、チャンネルインデックス、モジネット＊を見ているときはストロボ機能は働きません。
・ ストロボ画面を録画することはできません。ストロボ中は中央の動画の映像／音声のみ本体裏面のビデオ出力端子から出力されます。

＊の付いた用語は用語集をご覧ください。☞66ページ。

画面メモをする

画面メモボタンを押した瞬間の画面が静止して、右側に移ります。応募先や料理番組の材料を書き留めるのに便利です。

画面メモボタンを押す。

画面メモボタンを押す。

もう一度押すと通常画面に戻ります。

画面メモを見ているときにチャンネル切換、入力切換をすると

自動的に一画面に戻ります。

ご注意

二画面、チャンネルインデックス、ストロボ、モジネット*を見ているときは画面メモ機能は働きません。

左の通常画面の放送が終了したときは

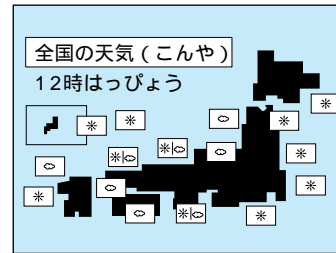
約10分後に自動的にスタンバイモードになります。

＊の付いた用語は用語集をご覧ください。☞66ページ。

モジネット（文字放送）とは

操作編

テレビ信号の画面と画面のすき間を利用して、テレビ放送とは別に文字や図形による情報を同時に送る放送方式です。

文字や図形による静止画面が次々に切り換わり、雑誌のページをめくるように見ることができます。

（以下、一部を除いてノーマル画面のイラストによる説明です。）

ご注意

- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテル等においてテレビ放送受信時に、モジネットの二画面機能やフラッシュ機能・ライブラリー機能等を利用されますと、著作権法で保護されている権利者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- モジネット画面の音声は出ません。
- モジネットの無いチャンネルまたはモジネットの無い時間は受信できません。
- リモコンの電源ボタンで電源を切ってもモジネットの情報は更新されます。（「文字メモリー：入」のとき☞24ページ）
- 本体の電源ボタンで電源を切るとモジネットの情報は消えます。
- 本体の電源ボタンで電源を入れ、モジネットの番組を選んだとき、文字情報が表示されるまで多少の時間がかかります。
- モジネットの自動設定を行いますので、お買い上げ時やチャンネル設定のあとは、しばらくNHK（総合テレビ）をご覧ください。
- 説明で使用している画面などのイラストの内容は説明用のもので、例として使用しています。

モジネットの特徴

加入手続き不要で、無料

加入手続きは必要なく手軽に楽しむことができます。受信料は無料です。

見たいときに見たい番組を自由に選択

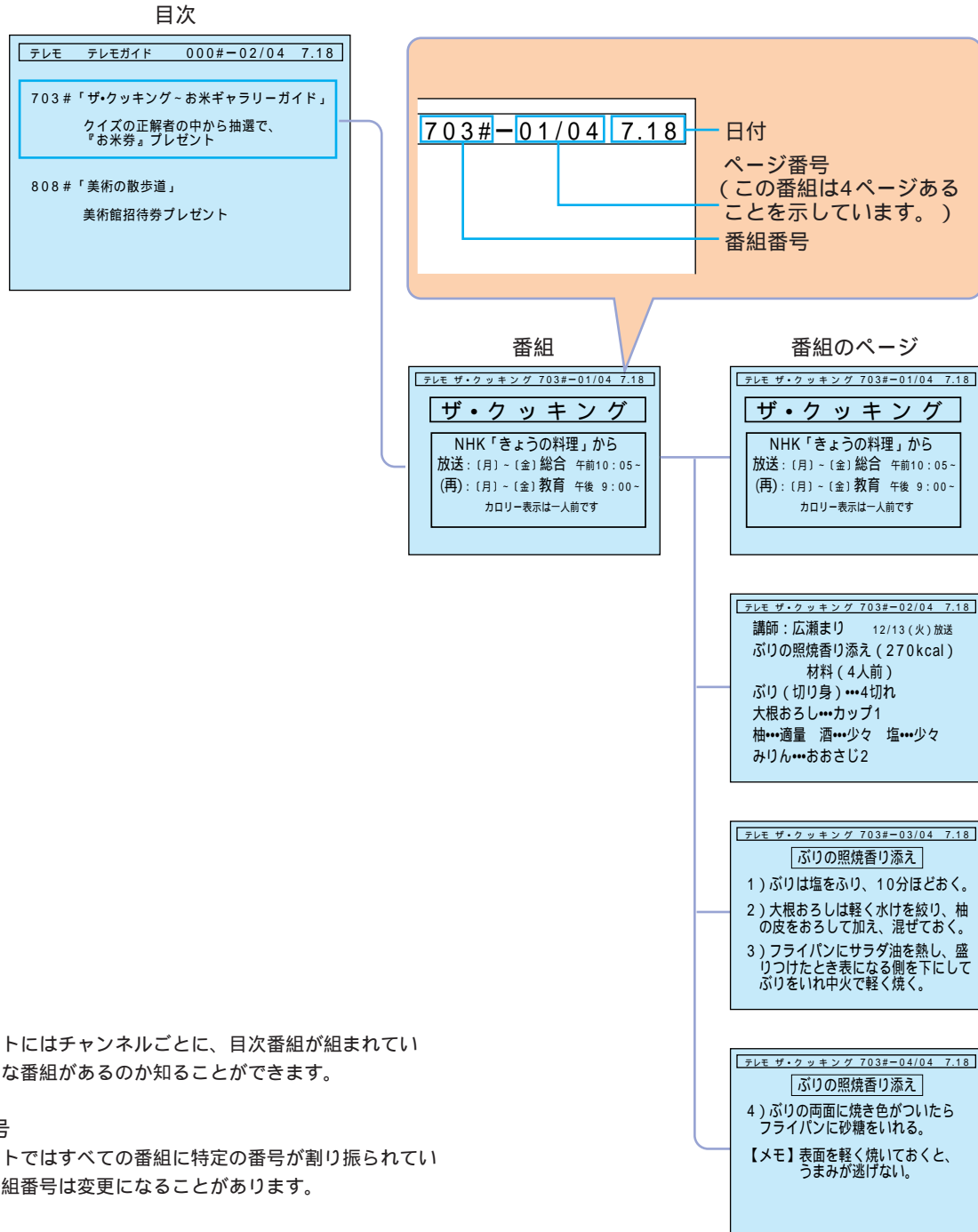
モジネットは、各局多数の番組があり、放送時間中はすべてのモジネット番組が放送されています。したがって、見たいときに見たい番組を自由に選ぶことができます。

タイムリーな情報が得られます

必要な情報は随時更新して、放送されています。

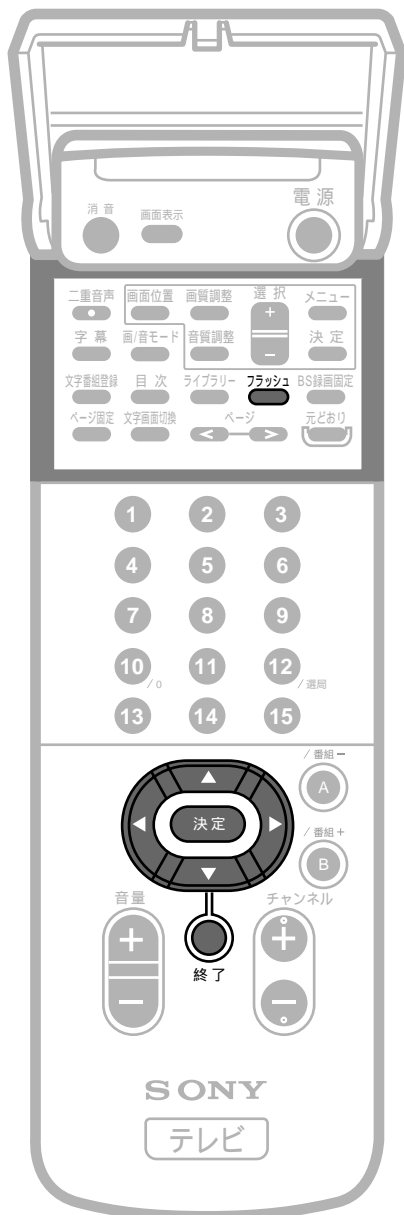
モジネット（文字放送）とは（つづき）

モジネットの番組は次のような構成で放送されています

（総ページ数は表示されないことがあります。）

目次
モジネットにはチャンネルごとに、目次番組が組まれていて、どんな番組があるのか知ることができます。

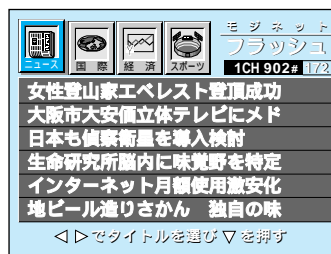
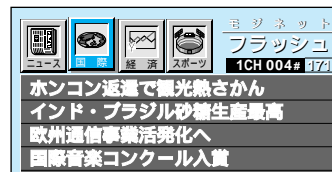
番組番号
モジネットではすべての番組に特定の番号が割り振られています。番組番号は変更になることがあります。

ページ番号
上の例で選んだ番組には4ページの画面があります。

モジネットを楽しむ

フラッシュを見る

- ニュースなどの見出しを一覧できる機能です。
- 見出し項目を選ぶことで、その項目のさらに詳しい情報を見ることができます。
- それまで見ていたテレビのチャンネルに関係なく、あらかじめ設定されているチャンネルのモジネットの番組が表示されます。

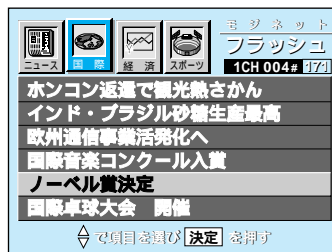
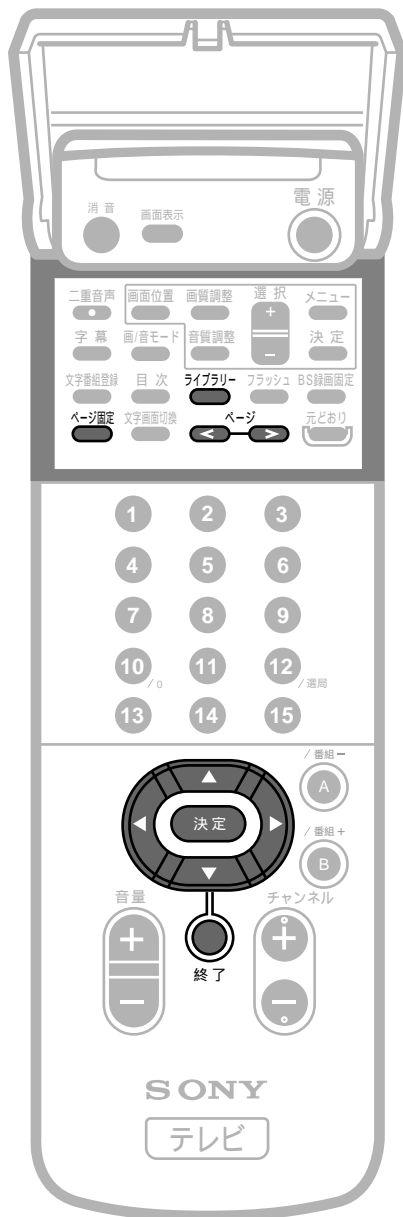
1 **フラッシュボタンを押す。**

フラッシュ画面が表示されます。

2 **◀／▶ボタンを押して見たいカテゴリーを選び、決定ボタンを押す。**

3 **▲／▼ボタンを押して見たい項目を選び、決定ボタンを押す。**

ページが分かれているときは、◀／▶／▲／▼ボタンを押して他のページに移動します。

テレビ番組に戻すには

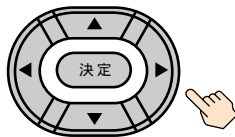
終了ボタンを押してください。

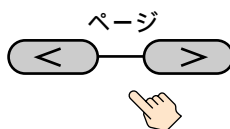
操作編

ライブラリー（情報番組）を見る

あらかじめ登録してあるモジネットの番組を、絵文字を選ぶだけで簡単に見ることができます。

1 **ライブラリーボタンを押す。**

ライブラリー画面が表示されます。

2 **◀／▶／▲／▼ボタンを押して見たい絵文字を選び、決定ボタンを押す。**

3 **ページ<／>ボタンを押して見たいページを選ぶ。**

押すごとにページがアップ、ダウンします。

テレビ番組に戻すには

終了ボタンを押してください。

見たいページに固定するには

モジネットの番組のページは約20秒経つと自動的に次ページに切り換わります。見たいページを固定したいときは、ページ固定ボタンを押してください。
同じページが表示され続けますが、内容は更新されます。
天気、株式、オッズなどで見たいページを出し続けるのに便利です。

お買い上げ時に設定されているモジネットの番組

モジネットの自動設定を行いますので、お買い上げ時やチャンネル設定のあとは、しばらくNHK（総合テレビ）をご覧ください。

フラッシュ

カテゴリー	テレビチャンネル	モジネットの番組名	番組番号
ニュース	NHK（総合テレビ）	ニュース	902#
国際	NHK（総合テレビ）	国際ニュース	004#
経済	NHK（総合テレビ）	経済ニュース	003#
スポーツ	NHK（総合テレビ）	スポーツニュースハイライト	007#

ライブラリー

カテゴリー	テレビチャンネル	モジネットの番組名	番組番号
天気	NHK（総合テレビ）	全国の天気予報	301#
週間	NHK（総合テレビ）	全国の週間天気予報	302#
株式	NHK（総合テレビ）	きょうの株価指標	100#
為替	NHK（総合テレビ）	東京外国為替市況	121#
競馬	NHK（総合テレビ）	中央競馬情報	831#
宝くじ	NHK（総合テレビ）	宝くじ情報	803#
料理	NHK（総合テレビ）	ザ・クッキング	703#
ニュース	NHK（総合テレビ）	災害情報119	119#

ご注意
モジネットの番組名、番組番号は変更になることがあります。

お好みのモジネットの番組を登録したいときは「フラッシュやライブラリーの登録を変更するには」☞25ページ。

つづく

モジネットを楽しむ（つづき）

フラッシュやライブラリーの番組を常時更新しておくには

1 メニューボタンを押す。
2 選択＋／－ボタンを押して「文字」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／－ボタンを押して「文字メモリー」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／－ボタンを押して「入」を選び、決定ボタンを押す。
5 メニューボタンを押してメニューを消す。

本体の電源がスタンバイのとき、本体前面の文字メモリーランプが点灯し、自動的に最新の情報に更新されます。ただし、本体の電源スイッチを切った場合はメモリーの内容は消えてしまいます。

呼び出し時間について

本機は、モジネット画面を即時に呼び出せるように、大容量メモリー（記憶素子）を内蔵しています。通常は、ご覧のチャンネルの文字放送はすばやく表示することができます。記憶容量の空きが無くなったときは、自動的に古い情報を消去して最新情報を記憶します。

モジネット用番組メモリー容量

	メモリー容量
フラッシュ	約24ページ×4番組
ライブラリー	約24ページ×8番組
目次番組	約32ページ （チャンネルを切り換えたときはデータは初期化します。）
一般番組	約32ページ（番組を選んだ後の記憶容量です。）

本体の電源を入れた直後やチャンネルを切り換えた直後は
文字情報が蓄積されていませんので、モジネットを選んでもすぐに出ないことがあります。しばらくそのチャンネルでテレビ放送を受信していると文字情報の蓄積が増えて表示できるようになります。

ご注意
「テレビ設定」（☞46ページ）を変更すると、それまでのモジネットの番組が正しくメモリーされなくなる場合があります。

番組によってはフラッシュやスクロールに表示されないことがあります

・ 全ページが2 ページ以下の番組はフラッシュに登録しても、フラッシュによる文字情報の表示はできません。
・ スクロール形態の番組はフラッシュに登録しても、フラッシュによる文字情報の表示はできません。
・ フラッシュ、スクロール、目次カーソル表示は本機で加工して表示していますので、放送内容によっては正しく表示されないことがあります。
・ 見出しのない番組はフラッシュに表示されません。

「Ⓐで中止」という表示が出ているときは

Ⓐボタンを押すと、操作を中止してもとの画面に戻ります。

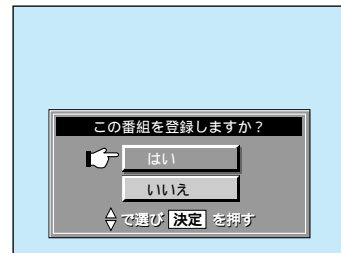
フラッシュやライブラリーの登録を変更するには

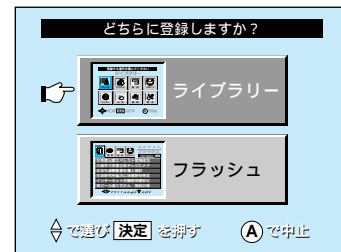
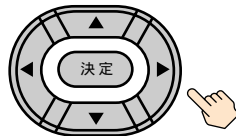
よく見る番組を登録しておくと便利です。
（例）ライブラリーの登録を変える

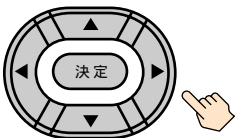
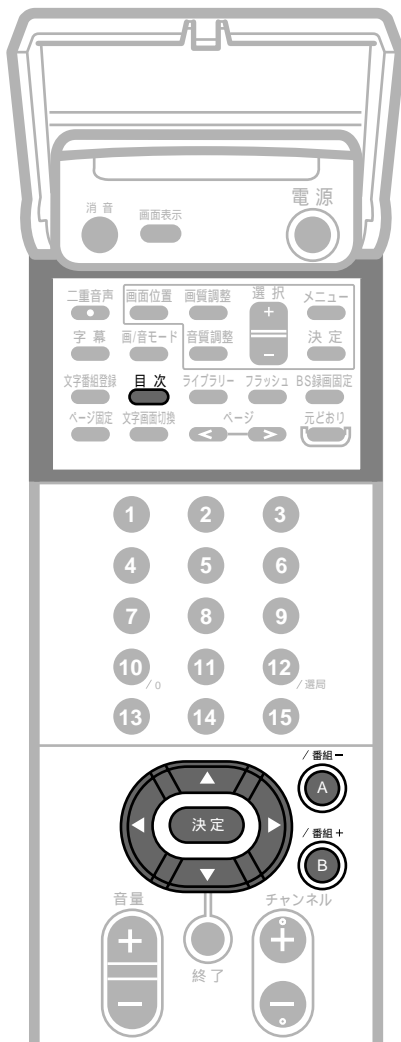
1 登録したいモジネットの番組を画面に映す。

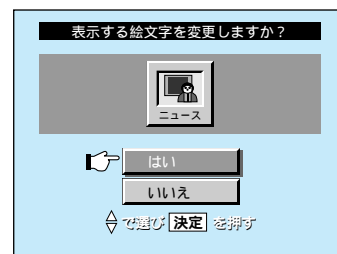
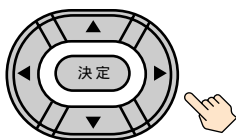
☞21、22、27ページ。

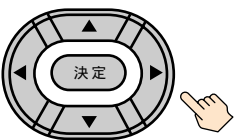
2 文字番組登録ボタンを押す。

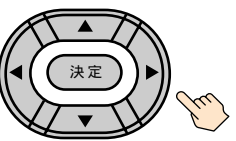
「この番組を登録しますか？」という表示が出、背景にそのモジネットの番組が表示されます。

3 ▲／▼ボタンを押して「はい」を選び、決定ボタンを押す。

「どちらに登録しますか？」という表示が出ます。

4 ▲／▼ボタンを押して「ライブラリー」を選び、決定ボタンを押す。

フラッシュの登録を変更するときは「フラッシュ」を選んでください。

モジネットを楽しむ（つづき）

5 ◀／▶／▲／▼ボタンを押して登録する場所を選び、決定ボタンを押す。

「番組を登録しました」と表示され、約2秒後に「表示する絵文字を変更しますか」という表示に変わります。

6 ▲／▼ボタンを押して「はい」を選び、決定ボタンを押す。

絵文字を変更しないときは「いいえ」を選んでください。登録が終了し最初のモジネットの番組の画面に戻ります。

7 ◀／▶／▲／▼ボタンを押して絵文字を選び、決定ボタンを押す。

30種類の絵文字の中からお好きなものを選んでください。

モジネット番組の登録をお買い上げ時の状態に戻すには

1 本体の設定ボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「初期設定」を選び、リモコンのフタの中の決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「文字番組登録初期化」を選び、リモコンのフタの中の決定ボタンを押す。
4 ▲／▼ボタンを押して「はい」を選び、リモコン下部の決定ボタンを押す。

テレビ画面に戻ります。
初期化が終わると「文字番組登録初期化を実行しました」と表示されます。

A／番組ーボタン、B／番組＋ボタンで番組を選ぶ

／番組－

モジネットの番組を逆方向に選ぶことができます。

／番組＋

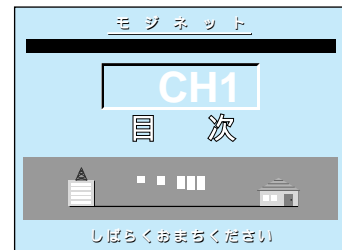
モジネットの番組を順方向に選ぶことができます。

目次番組を見る

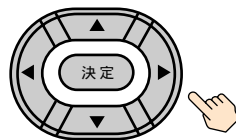
モジネットの目次番組の中から見たい番組を選ぶことができます。

1

目次ボタンを押し、次に見たいチャンネルのボタンを押す。

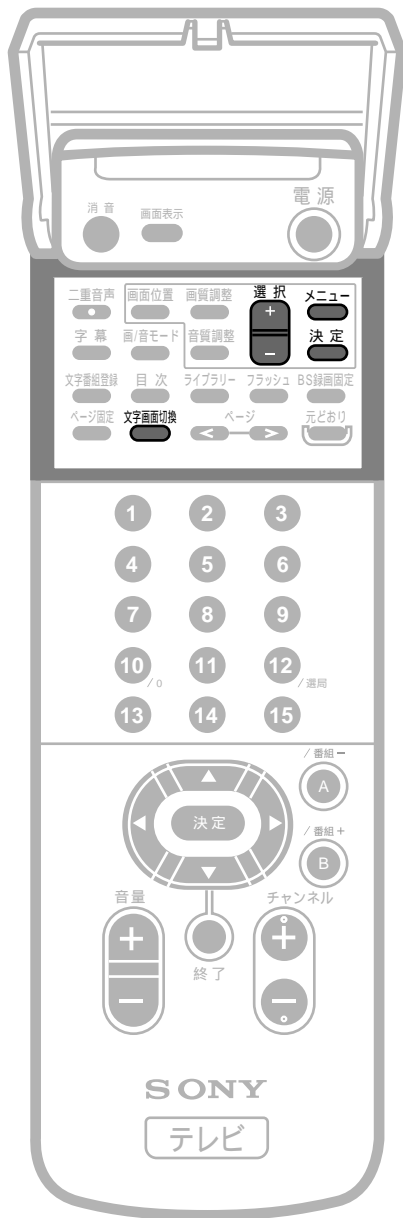
選んだチャンネルの目次番組が表示されます。

テンキー選局のとき（☞48ページ）は目次ボタンを押し、チャンネル番号を入力して12／選局ボタンを押します。

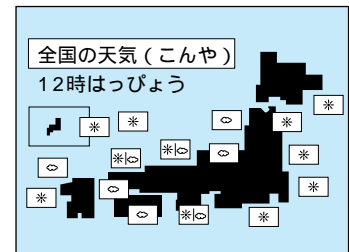
2

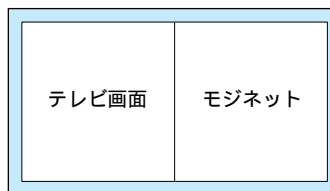
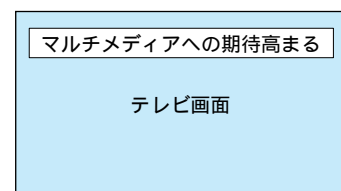
▲／▼ボタンを押して見たい番組を選び、決定ボタンを押す。

目次番組のページを送りたいときは、ページ<／>ボタンを押してください。

カーソル表示について

・ 目次以外の文字番組においても番組番号があればカーソル表示します。
・ 表示される画面によっては、カーソルが正しく表示されないことがあります。

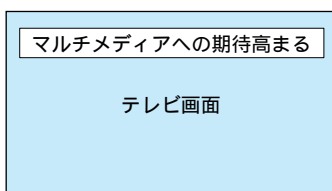
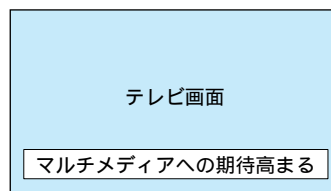
モジネットを楽しむ（つづき）

テレビ放送と同時にモジネットを見るには

1 **モジネットの番組を画面に映す。**

2 **文字画面切換ボタンを押す。**

押すたびに以下のように切り換わります。
スクロール（フラッシュのみ）→ 一画面 →ツインピクチャー

ツイン1またはツイン2の切り換えは☞13ページ。

スクロールの位置を選ぶ

左の手順2でスクロールを選んだ場合はスクロールの位置を選ぶことができます。

1 メニューボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「文字」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「スクロール位置」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／ーボタンを押して「上」または「下」を選び、決定ボタンを押す。

5 メニューボタンを押してメニューを消す。

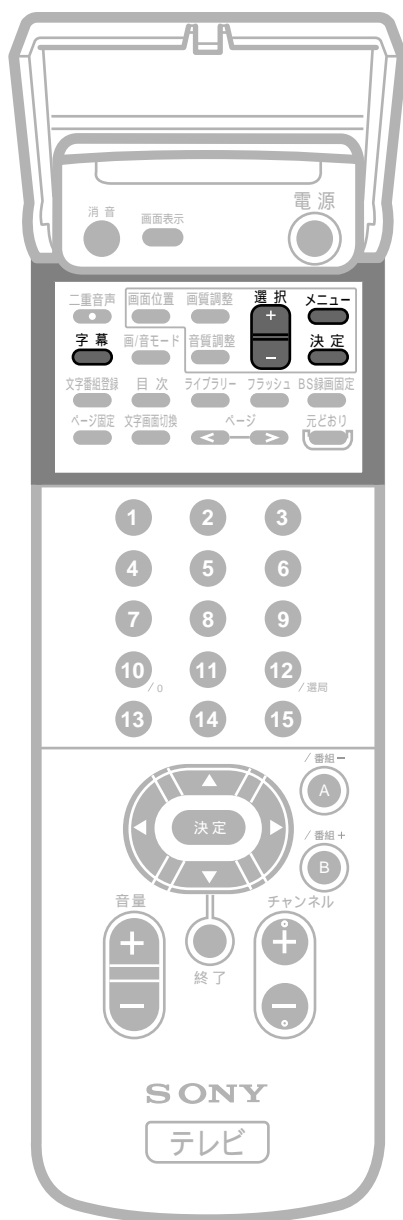
モジネットのみを見たいときは

左記の「テレビ放送と同時にモジネットを見るには」の手順2で「一画面」を選んでください。

一画面のときの画面モード（ノーマル／フル）を選ぶことができます

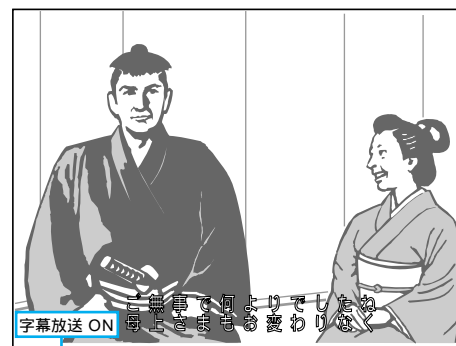
1 メニューボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「文字」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「文字一画面」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／ーボタンを押して「ノーマル」または「フル」を選び、決定ボタンを押す。
5 メニューボタンを押してメニューを消す。

次回、モジネットを一画面で見るときは選んだ画面モードでご覧になれます。

字幕放送を見る

テレビ番組によってはせりふなどを字幕で放送しているものがあります。字幕放送はモジネットの一種で、すべてのチャンネルで番組番号が決まっています(#999)。

字幕を見るには

お買い上げ時は、字幕の設定は「手動」になっています。

字幕ボタンを押してください。

数秒たつと消える

押すたびに「字幕放送ON」と「字幕放送OFF」が切り換わります。

「字幕放送ON」：字幕放送が始まると字幕を表示します。

「字幕放送OFF」：字幕放送中でも字幕を表示しません。

字幕ボタンで「字幕放送ON／OFF」を切り換えるには
右の手順4で「手動」を選んでください。
「自動」に設定されているときは字幕ボタンを押して一時的に「字幕放送OFF」にしても、次の字幕放送が始まったり、チャンネル切換などをすると「字幕放送ON」の状態にもどります。

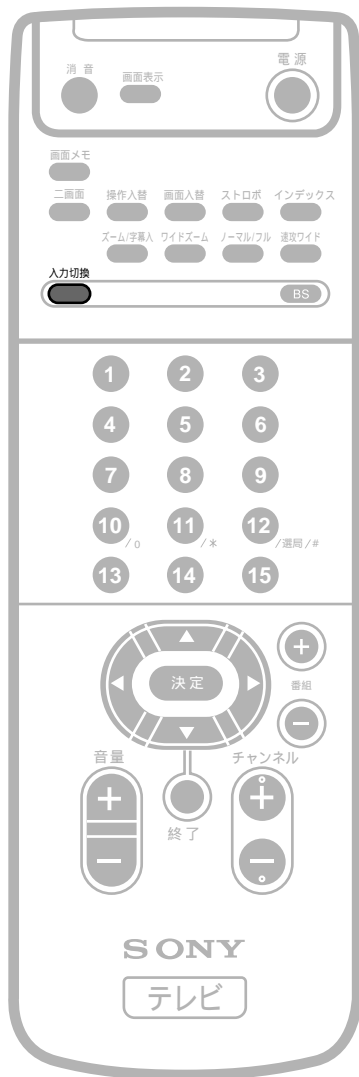
下記のものを見ているときは
モジネット、二画面、チャンネルインデックス、ストロボを見ているときは字幕は表示されません。

字幕の設定を切り換えるには

1 メニューボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「文字」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「字幕放送」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／ーボタンを押して「自動」または「手動」、「切」を選び、決定ボタンを押す。
下記の表を見て選んでください。

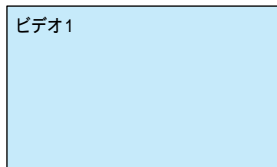
設定	字幕放送が送られているときは	字幕ボタンを押すと
自動	字幕が表示される	一時的に字幕放送OFFになる
手動：		
字幕放送ON	字幕が表示される	字幕放送OFFになる
字幕放送OFF	字幕は表示されない	字幕放送ONになる
切	字幕は表示されない	変わらない

5 メニューボタンを押してメニューを消す。

ビデオなどを見る

1 入力切換ボタンを押してビデオ機器がつないである入力を選ぶ。

押すたびに下記のように切り換わります。

ビデオ1→ビデオ2→ビデオ3→MUSE*1→テレビ

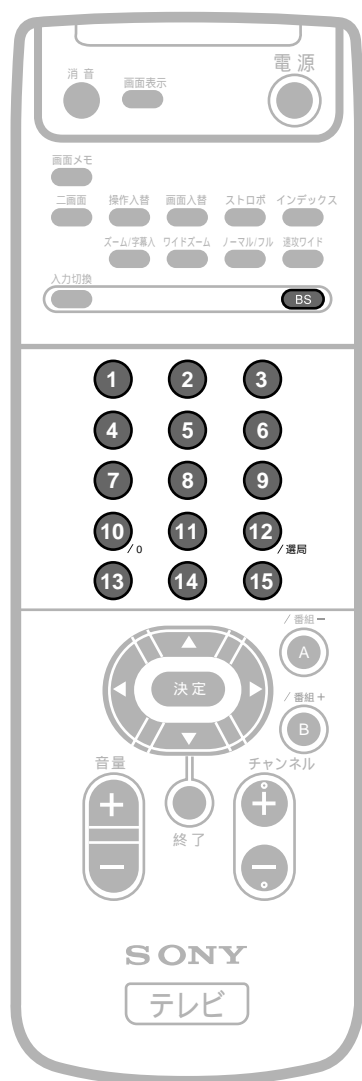
ビデオ1

＊1 ハイビジョン放送のチャンネルをBS録画固定（☞37ページ）しているときは、MUSE入力はスキップします。

2 ビデオ機器の再生ボタンを押す。

詳しくはビデオ機器の取扱説明書をご覧ください。

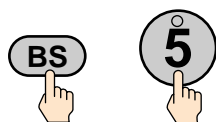
テレビ画面に戻るには

チャンネル数字ボタンまたはチャンネル＋／－ボタン、入力切換ボタンを押して、テレビに切り換えます。

有料の衛星放送を見る

有料の衛星放送を見るには、BSデコーダー*の接続(☞53ページ)が必要です。

1 **BSデコーダーの電源を入れる。**

2 **チャンネルボタンを押して、チャンネルを選ぶ。**

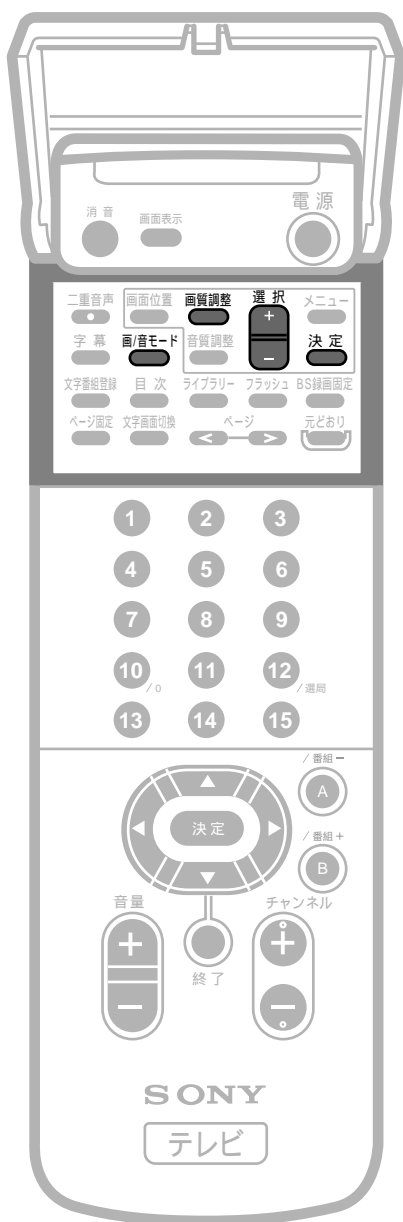
(例) WOWOWを見るには

独立音声を聞くには

1996年9月現在、独立音声放送*はBS5チャンネル(St.GIGA)でのみ放送されています。(St.GIGAは、WOWOWとは別に受信契約が必要です。)

1. メニューボタンを押してメニューを出す。
2. 選択+/ーボタンを押して「各種切換」を選び、決定ボタンを押す。
3. 選択+/ーボタンを押して「TV/独立音声」を選び、決定ボタンを押す。
4. 選択+/ーボタンを押して「独立」を選び、決定ボタンを押す。
   スクランブル*がかかっているときは、デコーダー側で独立音声に切り換えます。
5. メニューボタンを押してメニューを消す。

ご注意
BSデコーダー*を接続して有料の衛星放送を見ているとき、音声モードは表示されません。音声モードの切り換えは、デコーダー側で行ってください。
また、このとき受信チャンネルは水色で表示されます。

∗のついた用語は用語集をご覧ください。☞66ページ。

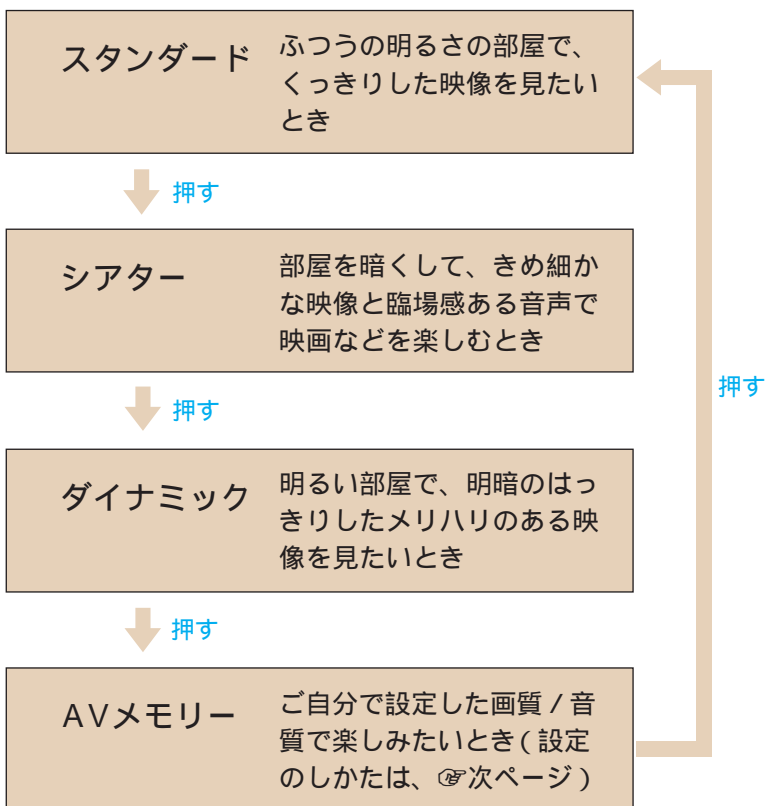
画質／音質を調整する

部屋の明るさや番組に合わせて、4種類の画質／音質を選ぶことができます。

部屋の明るさに合わせて画質を選ぶ

画／音モードボタンを押す。

押すたびに、画質／音質は下記の順に変わります。

●スタンダード	ふつうの明るさの部屋で、くっきりした映像を見たいとき
●シアター	部屋を暗くして、きめ細かな映像と臨場感ある音声で映画などを楽しむとき
●ダイナミック	明るい部屋で、明暗のはっきりしたメリハリのある映像を見たいとき
●AVメモリー	ご自分で設定した画質／音質で楽しみたいとき（設定のしかたは、☞次ページ）

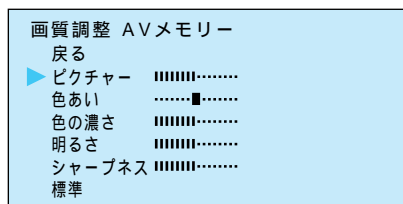
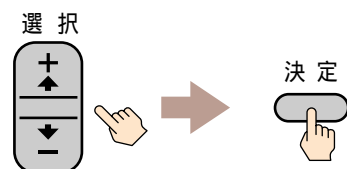
押す ↓ 押す ↓ 押す ↓ 押す（AVメモリーからスタンダードへ）

ご注意
「スタンダード」、「シアター」、「ダイナミック」での画質／音質は調整できません。

通常、ご家庭でご覧になるときは

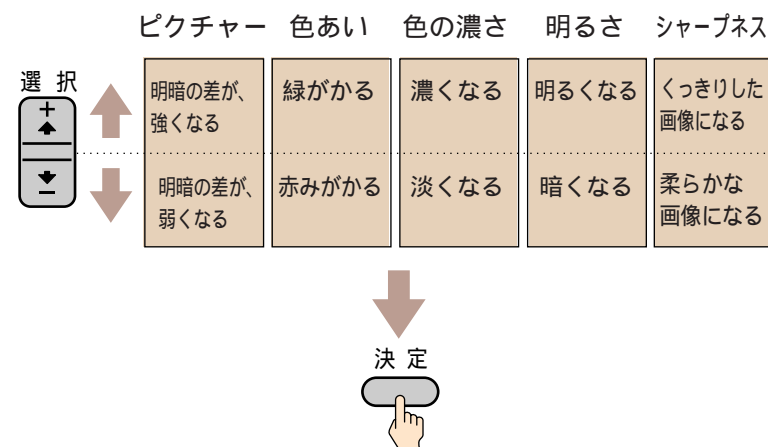
AVメモリーの「画質調整」、「音質調整」を「標準」にしておくことをおすすめします。

お好みの画質に調整する（AVメモリー）

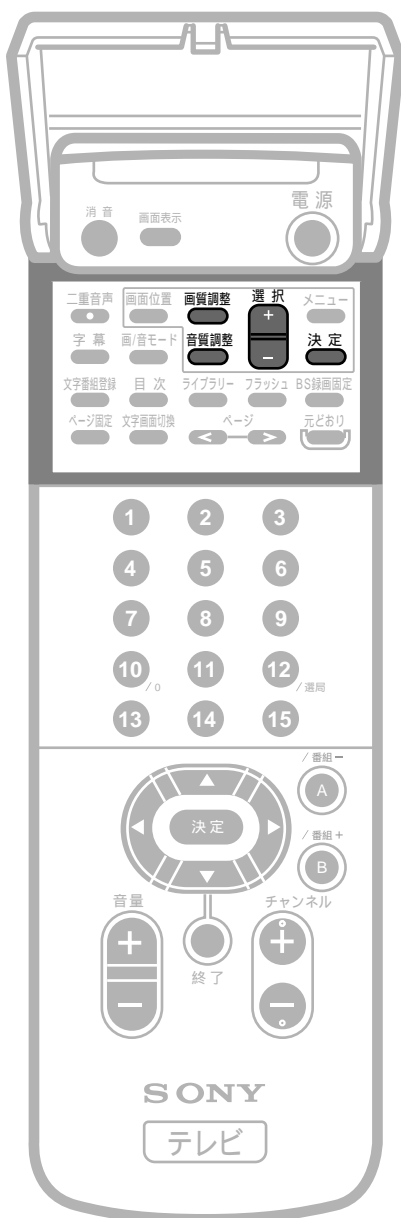
画質をお好みに合わせて調整し、AVメモリーに記憶させることができます。画／音モードボタンを押して「AVメモリー」を選ぶと、記憶させた画質で見ることができます。

1 画質調整ボタンを押す。

2 選択＋／－ボタンを押して調整する項目に▶を合わせ、決定ボタンを押す。

3 選択＋／－ボタンを押して調整し、決定ボタンを押す。

選択	ピクチャー	色あい	色の濃さ	明るさ	シャープネス
＋	明暗の差が、強くなる	緑がかる	濃くなる	明るくなる	くっきりした画像になる
－	明暗の差が、弱くなる	赤みがかる	淡くなる	暗くなる	柔らかな画像になる

つづく

モジネットを一画面で見ているときは
画質調整の色あい、色の濃さ、シャープネスは調整できません。

AVメモリーは数種類設定できます
AVメモリーは、テレビ、BS、ビデオ1、2、3、MUSE入力それぞれについて画質／音質を設定することができます。

画質／音質を調整する（つづき）

4 手順2と3を繰り返して、他の項目を調整する。

5 画質調整ボタンを押してメニューを消す。

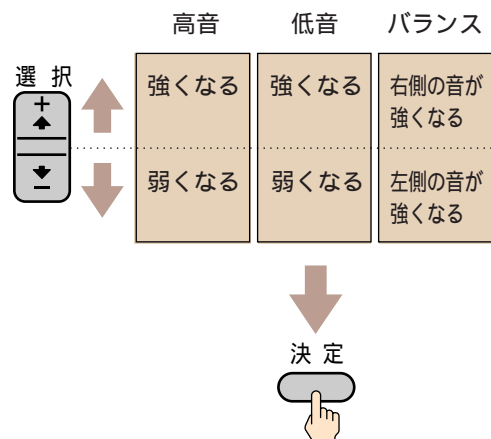
より細かく画質を調整するには（輪郭の強調）

設定メニューで「VM：入」を選ぶと輪郭が強調された画像になります。

1　本体の設定ボタンを押す。
2　選択＋／ーボタンを押して「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。
3　選択＋／ーボタンを押して「VM」を選び、決定ボタンを押す。
4　選択＋／ーボタンを押して「入」を選び、決定ボタンを押す。
5　設定ボタンを押してメニューを消す。

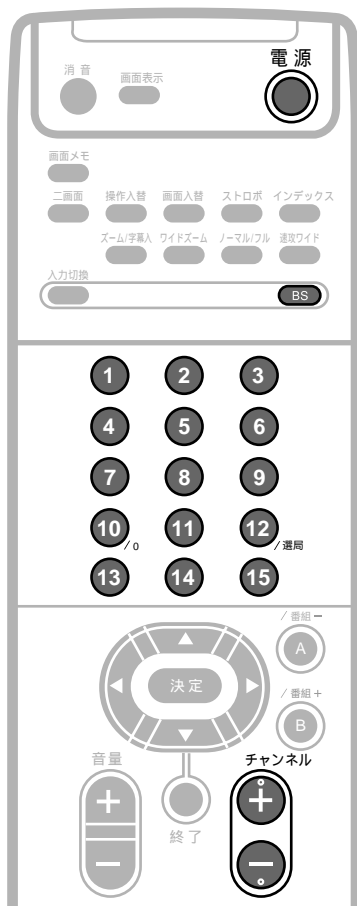
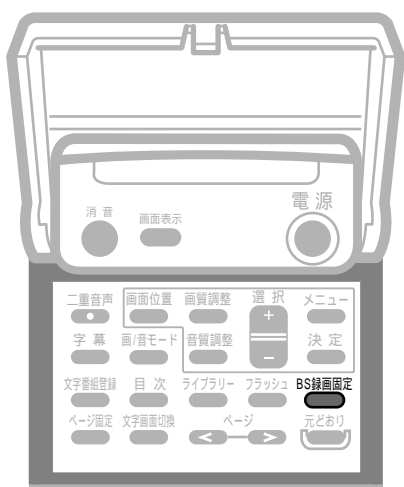
・電波の受信状態によっては「VM：切」のほうが画像がよく見える場合があります。そのときは「VM：切」にしてください。
・シアターモード（☞34ページ）を選んでいるとき、またはモジネット画面では「VM：入」にしても輪郭は強調されません。

お好みの音質に調整する（AVメモリー）

画質と同様、音質もお好みに合わせて調整し、AVメモリーに記憶させることができます。画質調整ボタンのかわりに、**音質調整ボタン**を押すと、下記の項目が調整できます。

画質／音質を標準（お買い上げ時）の状態にするには
それぞれの調整項目の一番下にある「標準」を選び決定ボタンを押します。

モジネットを一画面で見ているときは
音質調整はできません。

衛星放送を録画する

テレビのBSチューナー*を使って、衛星放送をビデオに録画することができます。
この場合、必ず「衛星放送を録画するための接続」を行ってください。
☞57ページ

見ながら録画する

録画したい番組をテレビに映す。

2 **ビデオデッキを操作する。**
ビデオデッキの入力切り換えを外部入力（またはライン入力）にし、録画を始めてください。

裏番組を録画するには

テレビ（VHF、UHF、CATV）やビデオを見ながら、衛星放送を録画することができます。このとき、録画している番組を誤って切り換えないよう、下記の操作を行ってください。
1 録画したい番組をテレビに映す。
2 BS録画固定ボタンを押す。

BSチューナー部のチャンネルと音声が固定されて、他のBSのチャンネルに切り換わらなくなります。
BS録画固定をしたあとは、リモコンでテレビを消しても、BSチューナー部は、BS録画固定をしてから48時間電源が入った状態になります。
BSの他のチャンネルを見るにはBS録画固定ボタンを再度押してください。BS録画固定が解除されます。

ご注意
BS録画固定の操作は衛星放送のチャンネルを選んでいるときにのみできます。

独立音声を録音するには
各種切換メニューから「TV／独立音声」を選んで「独立」にしてください（☞33ページ）。スクランブル*放送のときは、デコーダー*側で独立音声を選んでください。

＊の付いた用語は用語集をご覧ください。
☞66ページ。

衛星放送を録画する（つづき）

予約録画する

48時間以内の番組を簡単に予約録画することができます。

1 録画したいチャンネルをテレビに映す。

2 ビデオデッキで録画を予約する。

ビデオデッキの入力切り換えを外部入力（ライン入力）にしてください。

3 BS録画固定ボタンを押す。

4 リモコンで電源を切る。

BS電源ランプが点灯したままになります。

スクランブル*のかかった放送を録画するときは、デコーダー*の電源を入れたままにしてください。

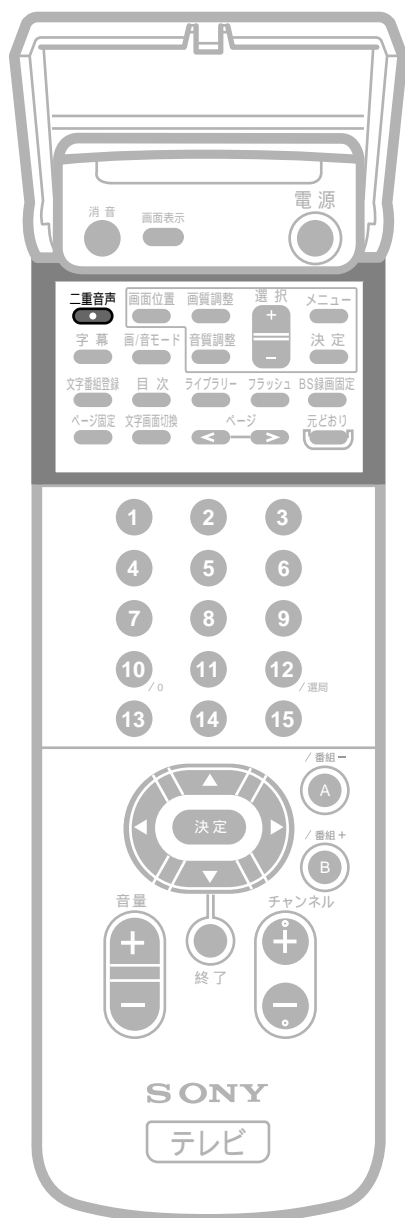
BS録画固定を解除するには

もう一度、リモコンで電源を入れた後衛星放送のチャンネルを選び、BS録画固定ボタンを再度押します。

ご注意

- テレビ本体の電源スイッチでテレビを消すと録画できなくなります。
- BS録画固定をすると、BSのチャンネルは固定されます。
- ハイビジョン放送のチャンネルをBS録画固定したときは、MUSE入力の映像を見ることはできません。
- BS録画固定ボタンを押してから、またはタイマーメニューの「BS録画固定」を「入」に設定してから、約48時間後にBS電源は自動的に切れます。

*の付いた用語は用語集をご覧ください。☞66ページ。

音声を切り換える

二重音声放送のときには、主音声、副音声、主音声＋副音声のいずれかを選ぶことができます。

二重音声ボタンを押す。

二重音声

押すたびに、音声は下記の順に変わります。

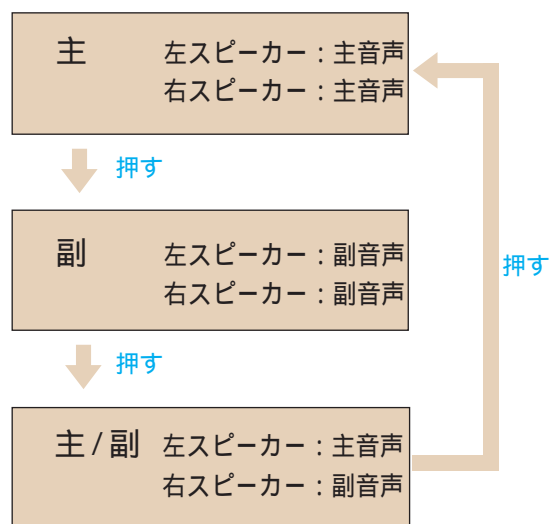
●主　左スピーカー：主音声
右スピーカー：主音声

↓ 押す

●副　左スピーカー：副音声
右スピーカー：副音声

↓ 押す

●主／副　左スピーカー：主音声
右スピーカー：副音声

（押す → ●主に戻る）

VHF／UHFのステレオ放送で雑音が気になるときは

音声をモノラルにして雑音を軽減することができます。

1　本体の設定ボタンを押す。
2　選択＋／－ボタンを押して「音声設定」を選び、決定ボタンを押す。
3　選択＋／－ボタンを押して「オートステレオ」を選び、決定ボタンを押す。
4　選択＋／－ボタンを押して「切」にして決定ボタンを押す。
5　設定ボタンを押す。

「オートステレオ」を「切」にすると、VHF／UHFのすべてのチャンネルの音声がモノラルになります。ステレオでお聞きになるときは「オートステレオ」を「入」に戻してください。

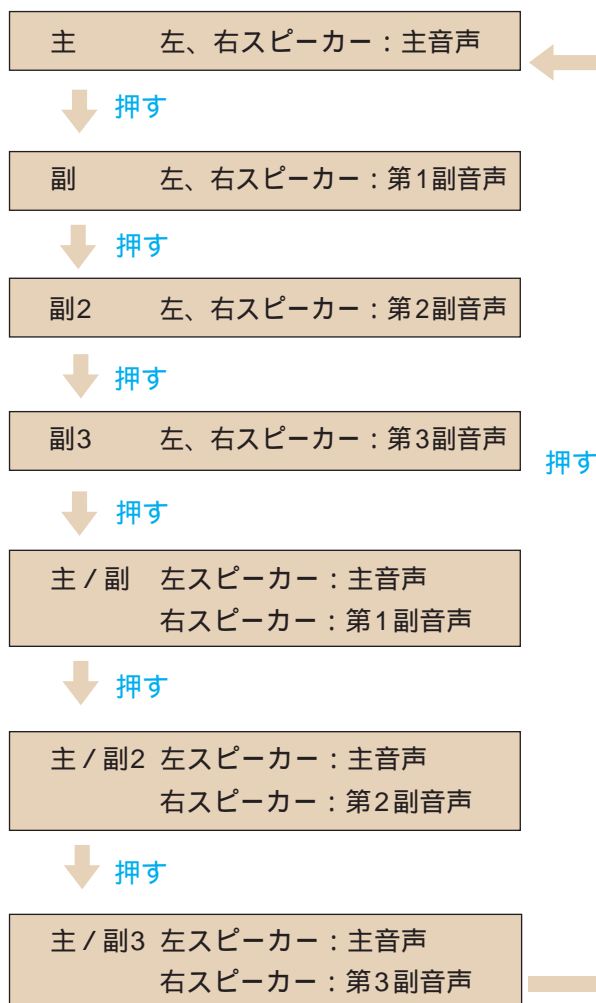
ハイビジョン放送／MUSE* 入力の音声を切り換える

ハイビジョン放送には、多重音声、ステレオ2系統、3chステレオ、4chステレオなどの音声モードがあります。
二重音声ボタンを押して、各々の音声モードを選択します。

多重音声モードのとき

二重音声ボタンを押す。

押すたびに、音声は下記の順に変わります。

●主　左、右スピーカー：主音声
↓ 押す
●副　左、右スピーカー：第1副音声
↓ 押す
●副2　左、右スピーカー：第2副音声
↓ 押す
●副3　左、右スピーカー：第3副音声
↓ 押す
●主／副　左スピーカー：主音声
右スピーカー：第1副音声
↓ 押す
●主／副2　左スピーカー：主音声
右スピーカー：第2副音声
↓ 押す
●主／副3　左スピーカー：主音声
右スピーカー：第3副音声
（押す → ●主に戻る）

ステレオ2系統モードのとき

二重音声ボタンを押すごとに、音声は「主ステレオ」または「副ステレオ」に切り換わります。

4ch（3-1方式）ステレオモードのとき

このモードを受信すると、画面右上に「3-1ステレオ」の表示が出ます。本格的に4chステレオを楽しむためにはオーディオシステムなどを接続し（☞58ページ）、下記の手順で「MUSE音声モード」を切り換えてください。

1 本体の設定ボタンを押す。
2 選択＋／−ボタンを押して「音声設定」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／−ボタンを押して「MUSE音声モード」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／−ボタンを押して「3」を選び、決定ボタンを押す。
5 設定ボタンを押してメニューを消す。

「MUSE音声モード」を切り換えると、テレビのスピーカー音声出力（可変／固定）端子から出力される音声は下記のように変わります。ただし、ヘッドホンを使用している時はMUSE音声モードは「1」に固定されます。

		MUSE音声モード		
		1	2	3
テレビのスピーカー	L	L+C+S	L+C	L
	R	R+C+S	R+C	R
音声出力（可変／固定）端子	L	L+C+S	L+C	L
	R	R+C+S	R+C	R
	C	−	−	C
	S	−	S	S

L：左、R：右、C：センター、S：サラウンド、−：出力なし

ハイビジョン放送
1996年9月現在、BS9チャンネルでは実用化試験局による放送が行われています。

*のついた用語は用語集をご覧ください。☞66ページ。

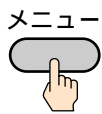
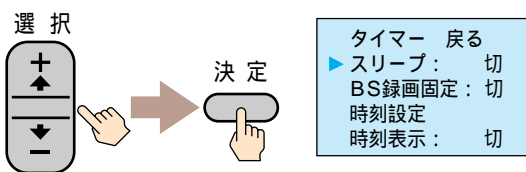
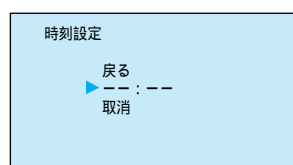
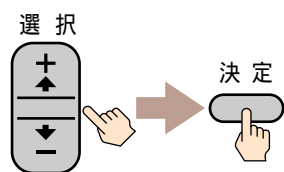
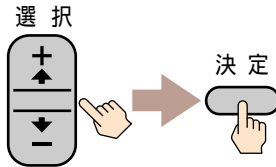
時計を使う

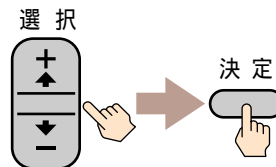
時計を表示する

昼の12時も夜の12時も0:00と表示されます。

1　メニューボタンを押す。

2　選択＋／－ボタンを押して「タイマー」を選び、決定ボタンを押す。

タイマー　戻る
▶スリープ：　切
BS録画固定：切
時刻設定
時刻表示：　切

3　選択＋／－ボタンを押して「時刻設定」を選び、決定ボタンを押す。

4　▶がーー：ーーの横にあることを確認して、決定ボタンを押す。

5　時間を設定する。

時→分の順に設定します。選択＋／－ボタンを押して数字を送り、決定ボタンを押して、時刻を設定します。

6　選択＋／－ボタンを押して「時刻表示」を選び、「入」にして、決定ボタンを押す。

7　メニューボタンを押してメニューを消す。

時刻表示が出たままになります。

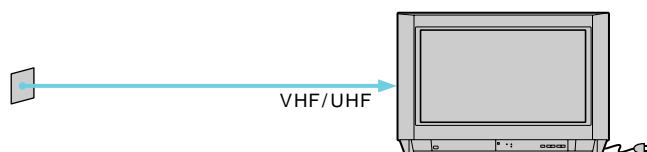
タイマーで電源を切る

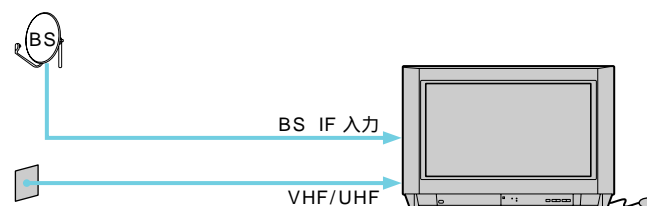
テレビをつけたままおやすみになっても、「スリープ」を「入」にしておけば約1時間後にテレビが消えます。

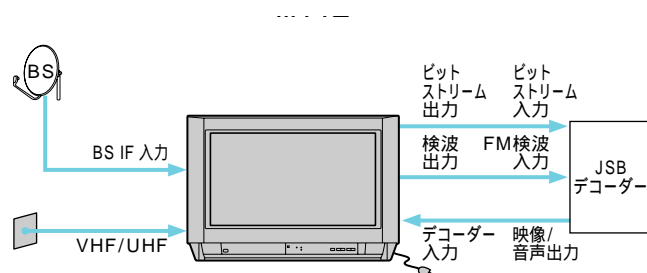
1　メニューボタンを押す。
2　選択＋／－ボタンを押して「タイマー」を選び、決定ボタンを押す。
3　選択＋／－ボタンを押して「スリープ」を選び、決定ボタンを押す。
4　選択＋／－ボタンを押して「入」を選び、決定ボタンを押す。本体のスタンバイ／スリープランプが点灯します。
5　メニューボタンを押してメニューを消す。

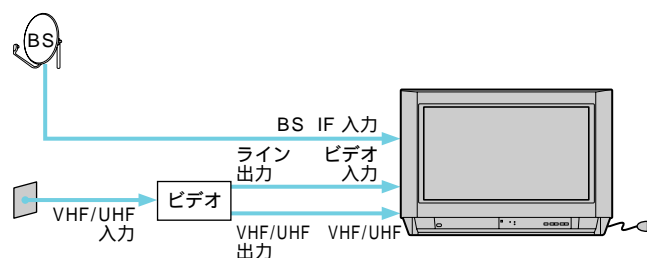
準備早わかり

受信する放送の種類や接続する機器によって準備のしかたが異なります。
下の例を参考に準備をしてください。

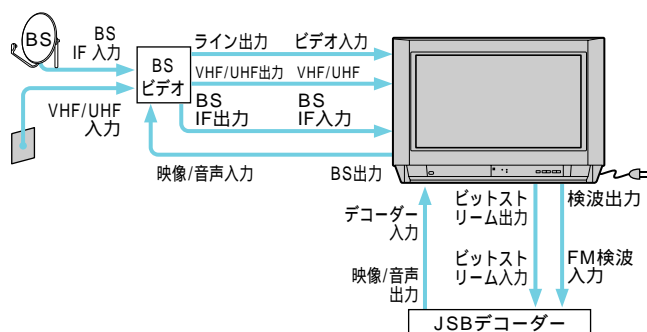
テレビ

1. テレビアンテナをつなぐ☞44ページ
2. 電源をつなぐ
3. テレビチャンネルを設定する☞46ページ

テレビ＋BS（NHK衛星第1、第2、ハイビジョン放送）

1. テレビアンテナをつなぐ☞44ページ
2. BSアンテナをつなぐ☞50ページ
3. 電源をつなぐ
4. テレビチャンネルを設定する☞46ページ
5. BS受信の設定をする☞51ページ

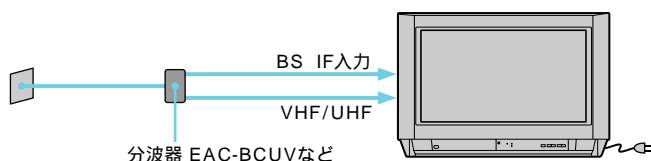
テレビ＋有料BS（WOWOW、St.GIGA）

1. テレビアンテナをつなぐ☞44ページ
2. BSアンテナをつなぐ☞50ページ
3. JSBデコーダーをつなぐ☞53ページ
4. 電源をつなぐ
5. テレビチャンネルを設定する☞46ページ
6. BS受信の設定をする☞51ページ
7. BSデコーダーを設定する☞53ページ

テレビ＋BS（NHK衛星第1、第2、ハイビジョン放送）＋ビデオ

1. テレビアンテナを、ビデオデッキを経由してテレビにつなぐ☞44、56ページおよびビデオデッキの取扱説明書
2. BSアンテナをテレビにつなぐ☞50ページ
3. ビデオデッキをテレビにつなぐ☞56ページ
4. 電源をつなぐ
5. テレビチャンネルを設定する☞46ページ
6. BS受信の設定をする☞51ページ

衛星放送を録画する場合は、「衛星放送を録画するための接続」を行ってください。☞57ページ

テレビ＋有料BS（WOWOW、St.GIGA）＋BSビデオ

1 テレビ／BSアンテナを、ビデオデッキを経由してテレビにつなぐ☞44、56ページおよびビデオデッキの取扱説明書
2 JSBデコーダーをテレビにつなぐ☞53ページ
3 ビデオデッキをテレビにつなぐ☞56ページ
4 電源をつなぐ
5 テレビチャンネルを設定する☞46ページ
6 BS受信の設定をする☞51ページ
7 BSデコーダーを設定する☞53ページ

マンションなどの共同受信システムの場合

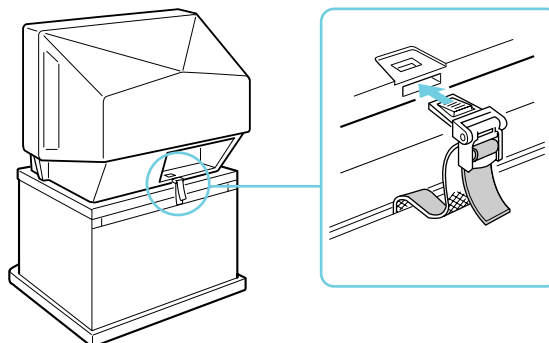
マンションなどでは、部屋のアンテナ端子ひとつでテレビ、BSを受信できる場合があります。

1 分波器を使ってテレビ／BSアンテナをつなぐ☞50ページ
2 電源をつなぐ
3 テレビチャンネルを設定する☞46ページ
4 BS受信の設定をする☞51ページ

ケーブルテレビの場合

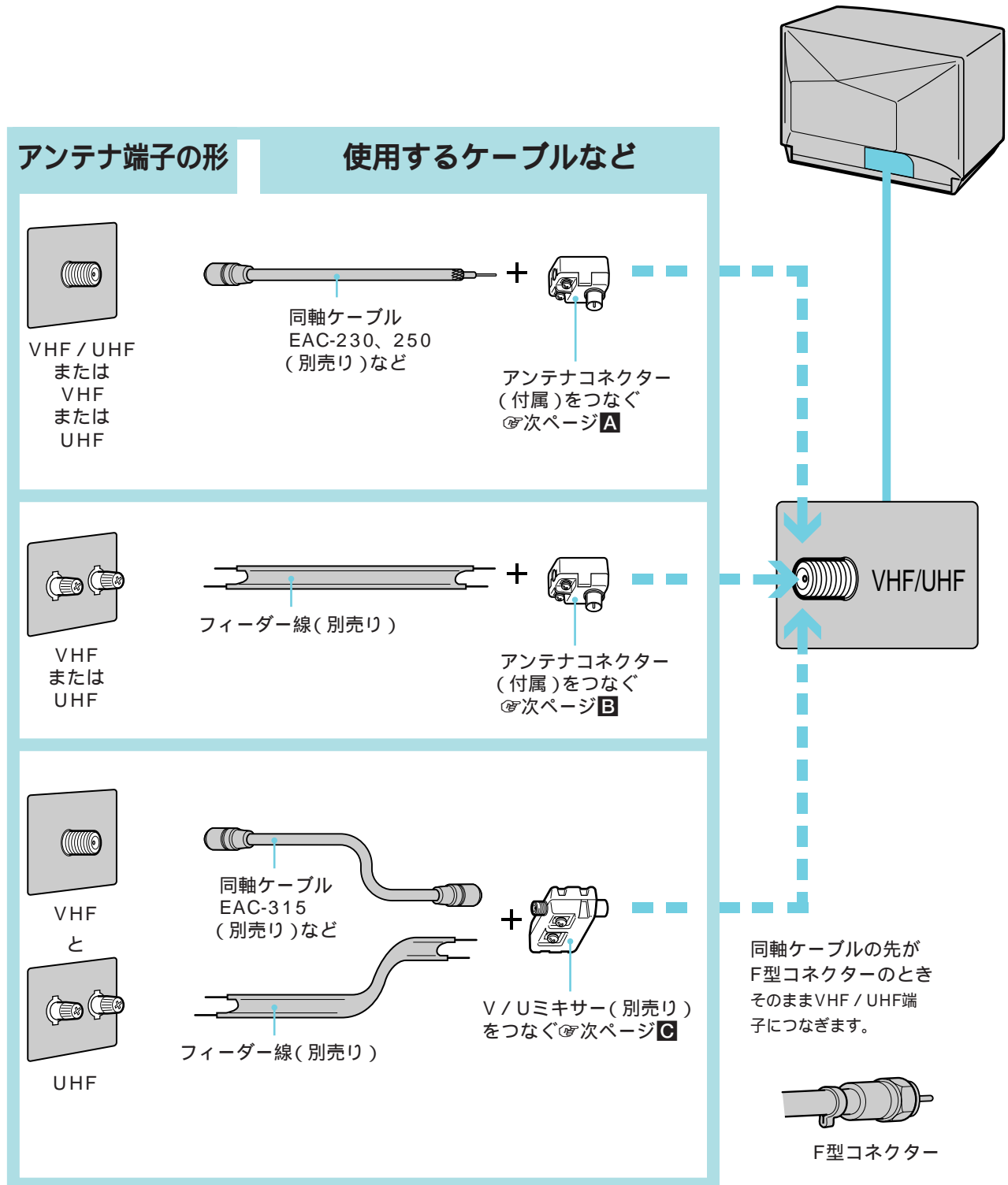
ケーブルシステムによって準備のしかたが異なりますので、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

テレビの転倒を防ぐために

お子様がテレビに登ったり、押したりすると、テレビが倒れる恐れがあります。下記の別売り品を使用してテレビの転倒を防いでください。

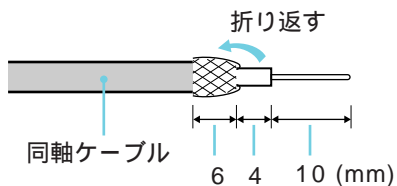
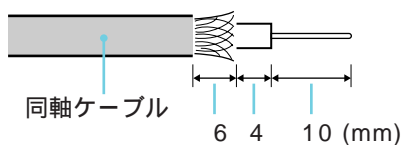
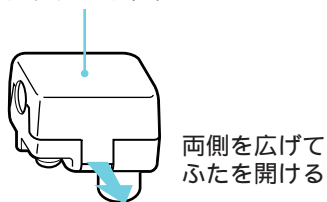
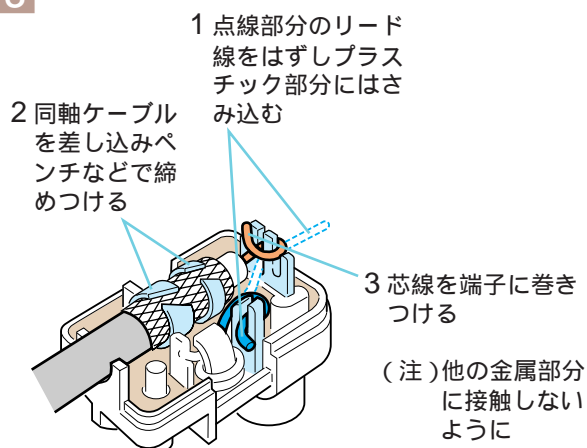
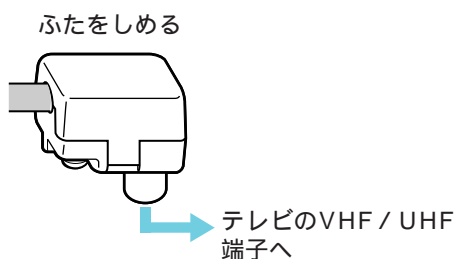
・テレビラック固定ベルト　　BLT-R10
・テレビラック固定ベルト付属のテレビスタンド
　SU-32S1、SU-32V

テレビアンテナをつなぐ

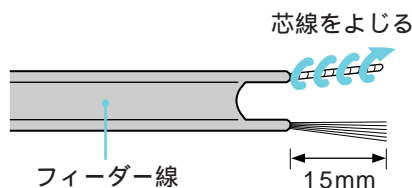
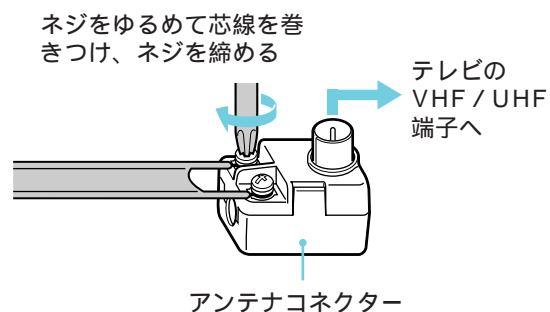
アンテナのつなぎかたは、部屋のアンテナ端子の形や使用するケーブルによって異なります。
下の例から最も近いものを選び、接続してください。
なお、いずれにも当てはまらない場合は、販売店などにご相談ください。

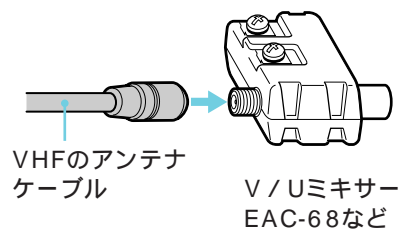
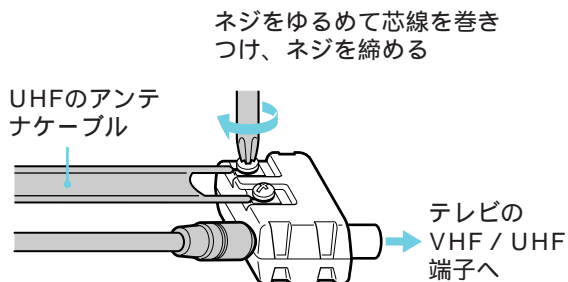
同軸ケーブルの先が F型コネクターのとき
そのままVHF／UHF端子につなぎます。

A 同軸ケーブルにアンテナコネクターをつなぐ

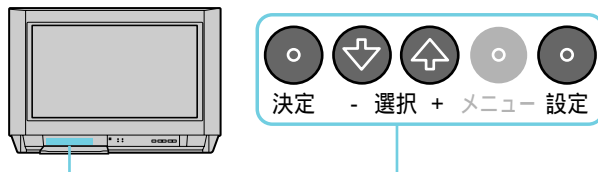
1 3C-2Vの場合

5C-2Vの場合

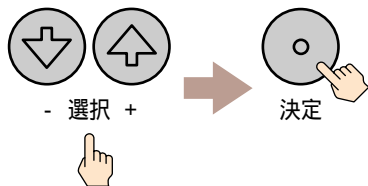
2

3

4

B フィーダー線にアンテナコネクターをつなぐ

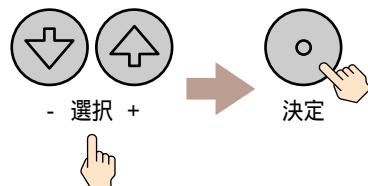
1

2

C V/Uミキサーをつなぐ

1

2

チャンネルを自動設定する

現在ご覧になれるVHF／UHFの放送を、①から⑫のチャンネルボタンに自動的に割り当てます。衛星放送は⑬から⑮のボタンにあらかじめ割り当ててありますので設定しなくてもご覧になれます。

1 設定ボタンを押す。

▶設定　終了
テレビ設定
ＢＳ設定
音声設定
初期設定

2 選択＋／−ボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。

テレビ設定　戻る
▶自動ＣＨ設定：　入
チャンネル設定変更
チャンネル表示書換
バンド：　UHF
選局：ダイレクト

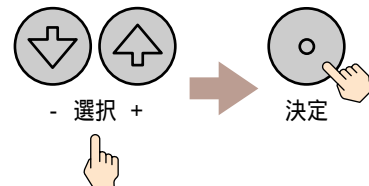
3 選択＋／−ボタンを押して「自動ＣＨ設定」を選び、「入」になっていることを確認して決定ボタンを2回押す。

自動的に設定が始まります。

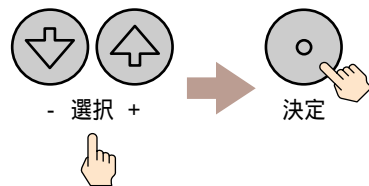
設定が終わると、下の画面に変わります。

4 設定されたチャンネルを確認し、必要があれば変更する。

5より大きい番号を確認するには、▶を画面の下まで動かします。

変更するには

1 選択＋／−ボタンを押して変更したい数字（リモコンの数字ボタン）を選び、決定ボタンを押す。

設定されたチャンネルが映ります。

2 選択＋／−ボタンを押して設定されたチャンネルを変更し、決定ボタンを押す。

3 手順1と2をくり返して、他のチャンネルを変更する。

5 設定ボタンを押してメニューを消す。

チャンネル設定を中断するには
「自動チャンネル設定実行中です」のメッセージが出ている間にメニューボタンを押す。

UHFのチャンネル番号について
地域によっては、実際のチャンネル番号で呼ばれず、通称のチャンネル番号で呼ばれていることがあります。新聞のテレビ欄などでお確かめください。

設定されたチャンネルを変更するには

1 設定ボタンを押す。
2 選択＋／－ボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／－ボタンを押して「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。
4 「チャンネルを自動設定する」の手順4に従って、チャンネルを変更する。
5 設定ボタンを押してメニューを消す。

ケーブルテレビを見るには

ケーブルテレビはサービスの行われている地域のみで見ることができ、ケーブルテレビ放送会社との契約手続きが必要です。詳しくはケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

1 設定ボタンを押す。
2 選択＋／－ボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／－ボタンを押して「バンド」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／－ボタンを押して「CATV」を選び、決定ボタンを押す。
5 選択＋／－ボタンを押して「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。
6 「チャンネルを自動設定する」の手順4に従って、ケーブルテレビのチャンネルを設定する。
ケーブルチャンネルは、表示の前に「C」が付きます。
例：C24
7 設定ボタンを押してメニューを消す。

チャンネル表示を書き換えるには

1 設定ボタンを押す。
2 選択＋／－ボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／－ボタンを押して「チャンネル表示書換」を選び、決定ボタンを押す。

チャンネルポジション（リモコンの数字ボタン）
設定されたチャンネル
チャンネル表示

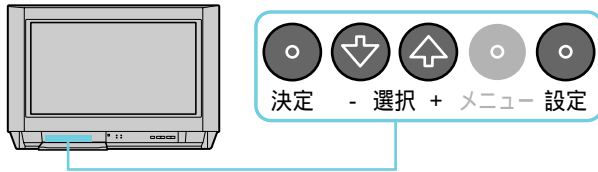
4 表示を書き換えたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。
5 選択＋／－ボタンを押して、チャンネル表示を書き換え、決定ボタンを押す。
6 設定ボタンを押してメニューを消す。

ご注意
複数のチャンネルを一つのチャンネル表示にしたり、一つのチャンネルに複数のチャンネル表示をつけたりすると、モジネット番組が正しく更新されない場合があります。

放送のないチャンネルをとばすには

チャンネル＋／－ボタンを押したときや、チャンネルインデックスをしたときに、放送のないチャンネルや見ないチャンネルをとばす（選局しない）ように設定することができます。

1 「チャンネルを自動設定する」の手順4の1で、放送のないチャンネルや見ないチャンネルを選ぶ。
2 選択＋／－ボタンを押して、「CH」を「0」にする。
3 設定ボタンを押してメニューを消す。

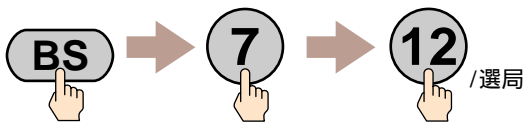
準備編

10キー選局にする

10キー選局とは

数字ボタンを押すと、通常は対応するチャンネルが映ります（「ダイレクト選局」）が、この方法で見られるチャンネルの数は15までです。見たいチャンネルの数が15を越えるときは「10キー選局」に切り換えてください。「10キー選局」にすると、リモコンの数字ボタンを組み合わせてお好きなチャンネルを選ぶことができます。

例）24チャンネル

10チャンネル

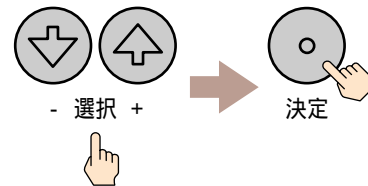
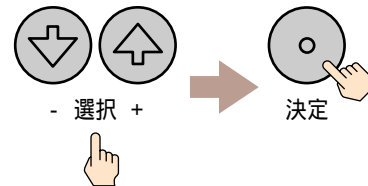
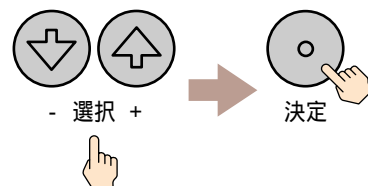
BS7チャンネル

数字ボタンの10と12は以下の働きになります。

……0を入力する

……選局ボタン

10キー選局に切り換える

設定ボタンを押す。

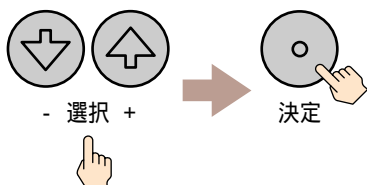
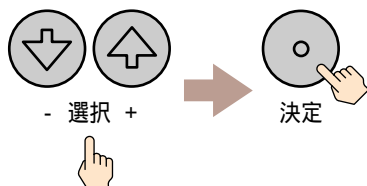
選択＋／−ボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。

3 選択＋／−ボタンを押して「選局」を選び、決定ボタンを押す。

4 選択＋／−ボタンを押して「10キー」を選び、決定ボタンを押す。

テレビ設定　戻る
自動ＣＨ設定：　入
チャンネル設定変更
チャンネル表示書換
バンド：　UHF
▶ 選局：　１０キー

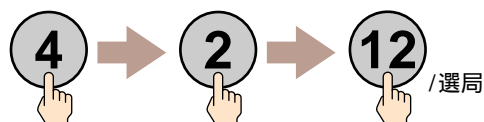
5 設定ボタンを押してメニューを消す。

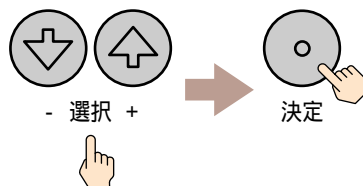
チャンネル＋／ーボタンで選べる局を設定する

お買い上げ時はチャンネル＋／ーボタンで、1〜12チャンネルとBS7、BS9、BS11チャンネルを選ぶことができます。
これ以外のチャンネルを選ぶときや、放送のないチャンネルをとばしたいときは、次のように設定してください。

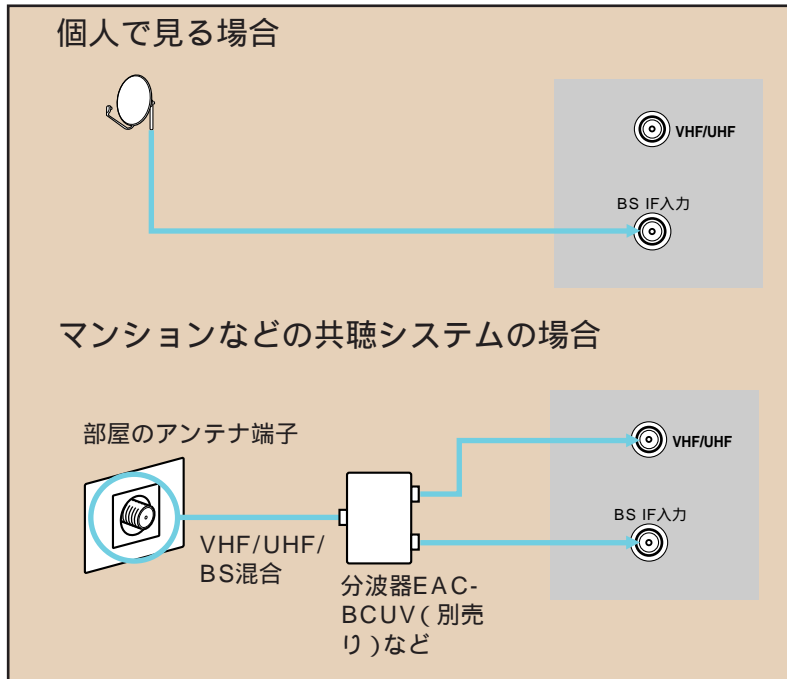
1 **設定ボタンを押す。**

2 **選択＋／ーボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。**

3 **選択＋／ーボタンを押して「 チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **見たいチャンネルまたはとばしたいチャンネルを選ぶ。**

例）42チャンネルなら

例）BS7チャンネルなら

5 **選択＋／ーボタンを押して、見たいチャンネルのときは「ストップ」を、とばしたいチャンネルのときは「スキップ」を選ぶ。**

6 **複数のチャンネルを設定する場合は、手順4と5を繰り返す。**

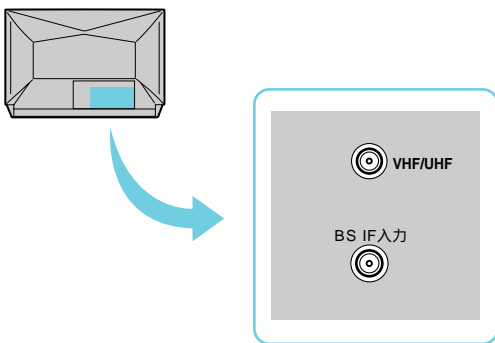
7 **設定ボタンを押してメニューを消す。**

BSアンテナをつなぐ

BS受信用の別売り商品

- BSアンテナ
  SAN-37J2
  SAN-37K2SET
  SAN-30BF1
- アンテナ取り付け金具
  ANJ-K1（壁面タイプ）
  ANJ-B1（ベランダタイプ）
- BS分配器
  EAC-BC2
  EAC-BC4
- BS/UV混合分波器
  EAC-BCUV
- BS用ブースター
  BO-BC20
- 同軸ケーブル
  SAK-C10（10m）
  SAK-C20（20m）
  SAK-C30（30m）

アンテナ接続後は、「BS受信の設定をする」を行ってください。 ☞51ページ

●アンテナをつなぐ端子はテレビ裏面にあります

ご注意

- ケーブル、アンテナコネクターは、BS専用のものをお使いください。
- VHF／UHFのアンテナコネクターは、BS用には使わないでください。

ご注意

BSアンテナケーブルをつなぐときは、工具を使わずに手でしっかりと締めてください。（工具を使うと、端子をいためることがあります。）

受信状態について

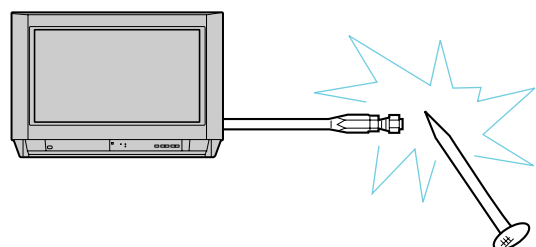
次のようなときは、BSを受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。

- 雷、豪雨、降雨、強風などの悪天候のとき
- アンテナに雪が付着しているとき
- 春分、秋分、日食など、太陽と地球と衛星が並んだとき（食のとき）
- 強風などで、アンテナの向きが変わったとき
  52ページをご覧の上、アンテナを調整してください。

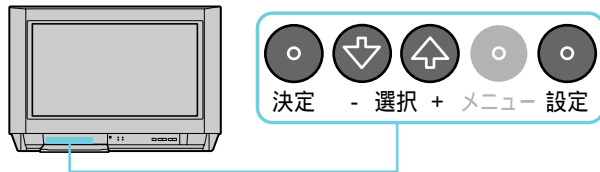
サテライト分配器についてのご注意

サテライト分配器をお使いになるときは、必ず、どの端子からもコンバーターに電源を供給するタイプ（ソニーEAC-BC2またはEAC-BC4など）をお使いください。
サテライト分配器には、特定の端子からのみコンバーターに電源を供給するタイプもありますが、このタイプを使用した場合、BSチューナー内蔵ビデオデッキでも、テレビの電源を入れないと衛星放送を録画できないなどの不都合が生じることがあります。

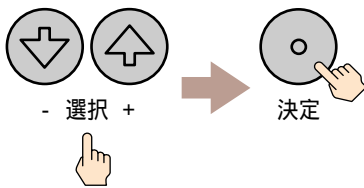
BSコンバーター電源についてのご注意

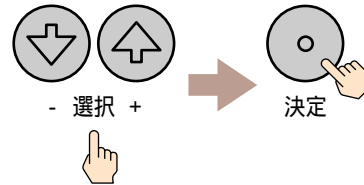
- BS IF入力端子はDC15Vが出ています。VHF、UHFのアンテナは絶対につながないでください。
- テレビ画面に「コンバーター電源を確認してください」という表示が出て、BS電源ランプが点滅しているときは、BSアンテナからのアンテナ線がショートしています。すぐにテレビ本体の電源を切り、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

BS受信の設定をする

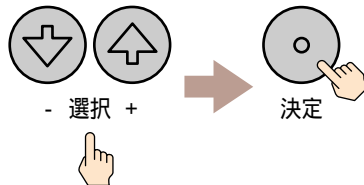
BSアンテナをつないだときは、必要に応じて「BS設定」をしてください。

BS電源を設定する

1 **BSのチャンネルにする。**

2 **設定ボタンを押す。**

3 **選択＋／−ボタンを押して「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。**

BSのときのみ選択できます。

4 **選択＋／−ボタンを押して「BS電源」を選び、決定ボタンを押す。**

BS設定　戻る
アンテナレベル
デコーダー入力切換
▶ BS電源：　オート

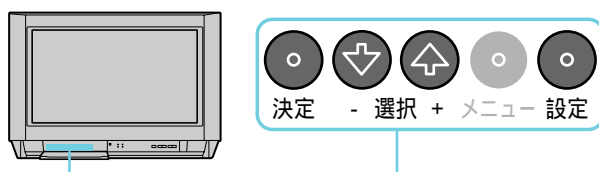
5 **選択＋／−ボタンを押してアンテナのつなぎかたに合わせた設定に切り換え、決定ボタンを押す。**

BS設定　戻る
アンテナレベル
デコーダー入力切換
▶ BS電源：　連動

設定	内容
●オート	BSコンバーターへの電源の供給を、テレビが自動的に判断して行います。
切	BSコンバーターへの電源は供給されません。マンションなどの共聴システムのとき、選んでください。
連動	テレビがついているとき、BSコンバーターへ電源を供給します。個別アンテナでBSの映像が映ったり消えたりするときに選んでください。

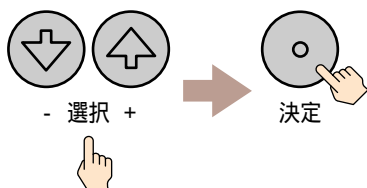
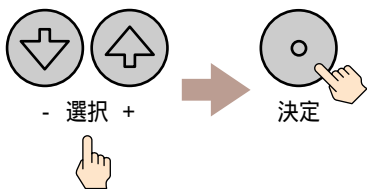
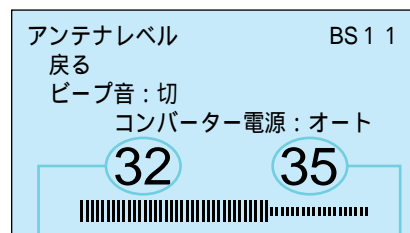
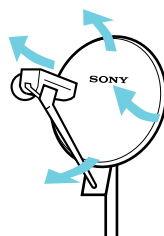
（●は、お買い上げ時の設定を示します。）

6 **設定ボタンを押してメニューを消す。**

アンテナの角度を調整する

BSアンテナに直接つないだときは、アンテナの方向と角度を調整する必要があります。最良の調整ができるように、テレビの画面上の数字や音で確かめられるようになっています。

1 **放送のあるBSのチャンネルを選ぶ。**

2 **設定ボタンを押す。**

3 **選択＋／－ボタンを押して「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。**

4 **選択＋／－ボタンを押して「アンテナレベル」を選び、決定ボタンを押す。**

5 **アンテナを調整する。**
アンテナレベルの数値が最大になるように、アンテナの方向・角度を調整します。

今入っている
アンテナレベル
（緑色の数字）

最大値
（黄色の数字）

「BS電源」が「切」になっているときは、「オート」または「連動」に設定してください。☞51ページ

6 **調整が終わったら、設定ボタンを押してメニューを消す。**

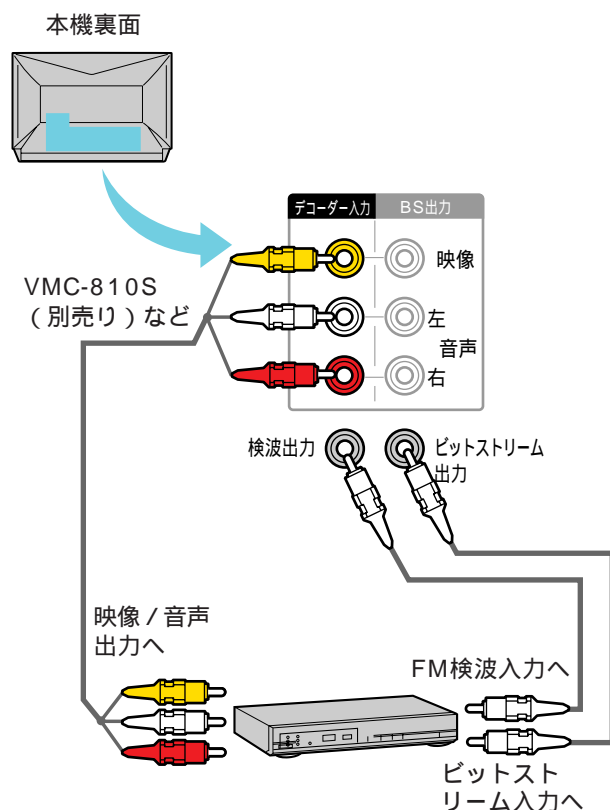
音を聞いて調整するには

テレビ画面で確認できないときに便利です。

1 手順4のあと選択＋／－ボタンを押して「ビープ音」を選び、決定ボタンを押す。
2 選択＋／－ボタンを押して「入」を選び、決定ボタンを押す。
3 手順5で連続した最高音になるようアンテナを調整する。
緑色の数値が大きいほど、高音になります。

BSデコーダーをつなぐ

有料の衛星放送を見るためには、デコーダー*をつなぐ必要があります。詳しくはBSの放送会社にお問い合わせください。お買い上げ時は、スクランブル*のかかった放送を受信すると、接続したBSデコーダーを通してスクランブルを解除するように設定されています。（デコーダー入力への自動切り換え機能）

JSBデコーダー*（WOWOW/St.GIGA）

デコーダー*のスイッチの設定

BSデコーダーの「検波／映像」切り換えスイッチを「検波」にしてください。

独立音声放送用デコーダー*を接続する場合

デコーダー入力の音声端子のみ接続してください。

ご注意

BSデコーダー*は必ず、デコーダー入力端子に接続してください。デコーダー入力端子に接続しないと、デコーダー入力へ自動的に切り換わりません。

デコーダー*を設定する

お買い上げ時は、全てのBSチャンネルは「オート」に設定されていますので、設定しなおす必要はありません。設定を変更する場合は下記の手順で操作してください。

1 BSのチャンネルにする。
2 設定ボタンを押す。
3 選択＋／－ボタンを押して「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／－ボタンを押して「デコーダー入力切換」を選び、決定ボタンを押す。
5 選択＋／－ボタンを押してチャンネルを選び、決定ボタンを押す。
BS9〜15を設定したいときは、▶をBS7より下に移動します。
6 選択＋／－ボタンを押して「テレビ」、「デコーダー」、「オート」、「MUSE」の設定の中から選び、決定ボタンを押す。

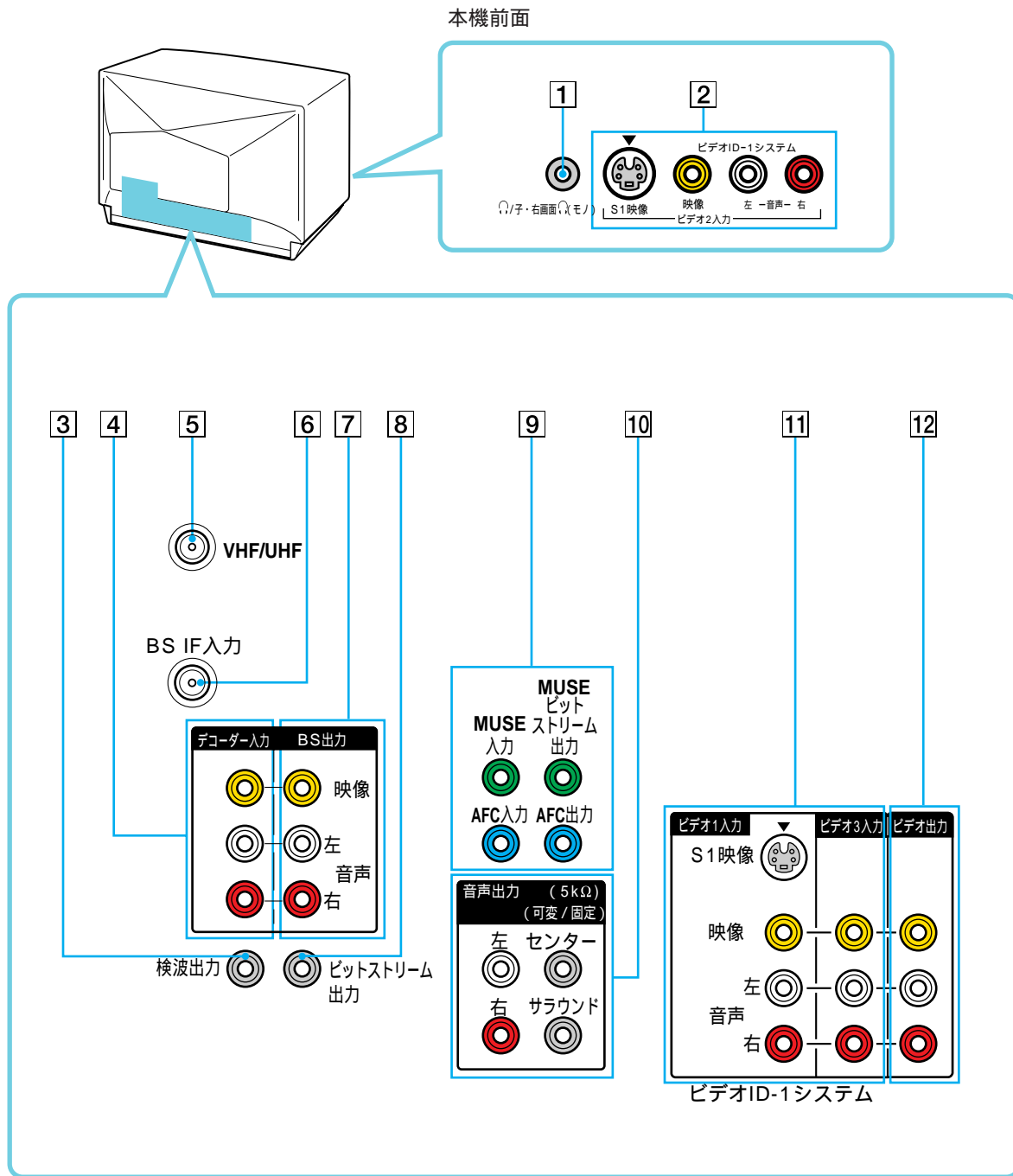
設定	内容
オート	BSのスクランブル*を自動判別
テレビ	受信した映像・音声をそのまま映す
デコーダー	デコーダー入力端子からの映像・音声を映す
MUSE	MUSE入力端子からの映像・音声を映す（将来のハイビジョン有料放送のためのモードです。）

7 手順5〜6を繰り返して、入力を変えたいチャンネルを1つずつ設定する。
8 設定ボタンを押してメニューを消す。

*の付いた用語は用語集をご覧ください。☞66ページ。

準備編

接続端子について

本機前面
1
2
ビデオID−1システム
/子・右画面(モノ)
S1映像
映像
左 −音声− 右
ビデオ2入力
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
VHF/UHF
BS IF入力
デコーダー入力
BS出力
映像
左
音声
右
検波出力
ビットストリーム出力
MUSE入力
MUSEビットストリーム出力
AFC入力
AFC出力
音声出力 (5kΩ)
(可変／固定)
左
センター
右
サラウンド
ビデオ1入力
ビデオ3入力
ビデオ出力
S1映像
映像
左
音声
右
ビデオID-1システム

☞のページに詳しい説明があります。

1 **ヘッドホン端子☞12ページ**
ヘッドホンをつなぎます。

2 **ビデオ2入力（S1映像／映像／音声）端子☞60ページ**
ゲームやビデオカメラレコーダーなどをつなぎます。

3 **検波*出力端子☞53ページ**
BSデコーダーのFM検波入力端子とつなぎます。

4 **デコーダー*入力（映像／音声）端子☞53ページ**
BSデコーダーの映像／音声出力端子とつなぎます。

5 **VHF／UHFアンテナ端子☞44、45ページ**
VHF／UHFアンテナ、またはケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

6 **BS IF入力端子☞50ページ**
BSアンテナからのケーブルをつなぎます。（これ以外のものはつながないでください）この端子から、BSコンバーター用電源（DC15V）を供給することができます。

7 **BS出力（映像／音声）端子☞57ページ**
ビデオデッキなどをつなぎます。受信しているBSの信号が常に出力されています。また、デコーダーが接続されているときは、スクランブル*を解除した信号が出力されています。

8 **ビットストリーム*出力端子☞53ページ**
BSデコーダーのビットストリーム入力端子とつなぎます。また、その他の新放送システムに対応するために用意されています。

9 **MUSE入力／MUSEビットストリーム出力／AFC入力／AFC出力端子**
ハイビジョン（MUSE）のビデオディスクプレーヤーやビデオデッキ、将来的に考えられている外部チューナーやMUSEデスクランブラーなどとつなぎます。

10 **音声出力（可変／固定）端子☞58ページ**
オーディオ機器などをつなぎます。メニューで「音声出力」を「可変」に設定すると、テレビ側で音量を調整することができます。
ハイビジョン放送のときは、「MUSE音声モード」を切り換えて、出力される音声信号を選ぶことができます。☞40ページ。

11 **ビデオ1、3入力（ID-1*）（S1映像***（ビデオ1入力のみ）**／映像／音声）端子☞56、57ページ**
ビデオデッキやマルチディスクプレーヤーなどのビデオ機器をつなぎます。

12 **ビデオ出力（映像／音声）端子☞57ページ**
ビデオデッキをつなぎます。
映像や音声を記録することができます。

ご注意
テレビに映っている映像、音声の信号を出力しますが、二画面、チャンネルインデックス、ストロボ時はメインとなる画面の信号のみ出力されます☞11、15、16、17ページ。また、モジネット*とテレビ放送を同時に出力することはできません。

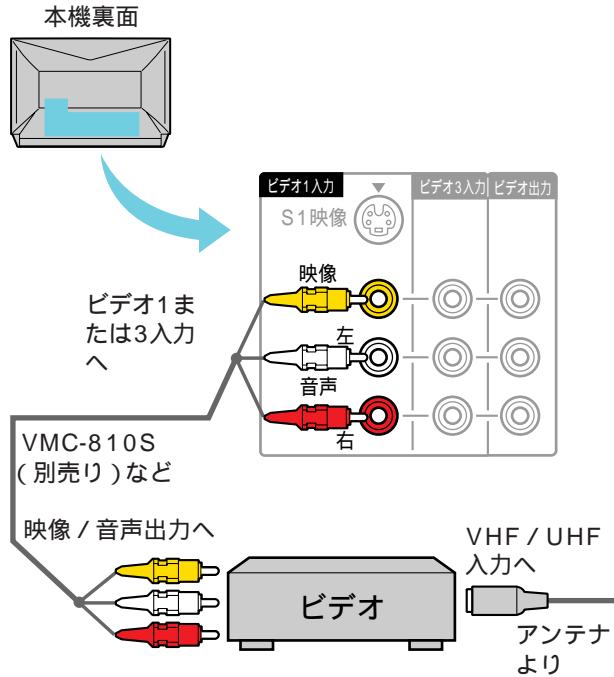
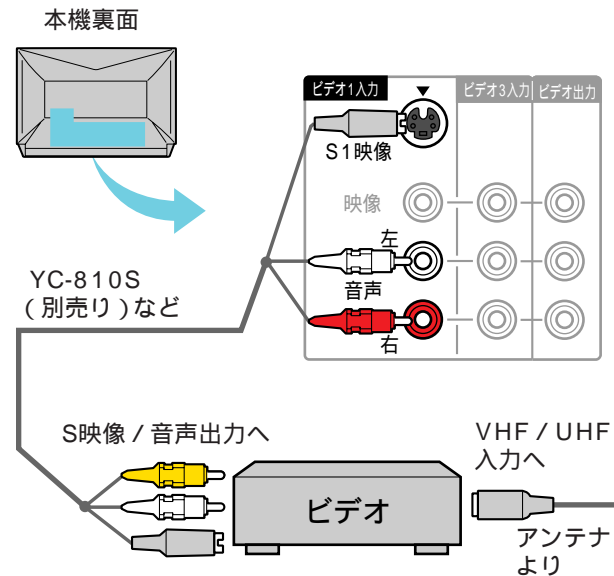
*のついた用語は用語解説☞66ページをご覧ください。

準備編

ビデオデッキをつなぐ

ビデオデッキの使用目的によって接続のしかたが異なります。目的に合ったつなぎかたを選んでください。アンテナのつなぎかたは、「準備早わかり」(☞42ページ) およびビデオデッキの取扱説明書などをご覧ください。

基本の接続

S映像端子のないビデオデッキ

S映像端子付きビデオデッキ

S1映像*端子と映像端子の使い分けかた

接続する機器によって、S1映像端子どうしの接続がよいものと、映像端子どうしの方がよいものとがあります。下表を参考にして、より良い画像でお楽しみください。

接続する機器	おすすめする端子
テレビチューナー BSチューナー／CSチューナー	映像
レーザーディスクプレーヤー *1	映像
ビデオデッキ *2 ビデオカメラの再生	S1映像
ビデオカメラのカメラスルー	S1映像
ゲーム機	S1映像

*1　三次元Y/C分離回路*搭載のレーザーディスクプレーヤーの場合は、接続の違いによる画質の差はほとんど生じません。
再生モードにはデジタルを使わず、ノーマルで再生してください。
*2　TBC（タイムベースコレクター）内蔵のビデオデッキでNTSC標準信号化できる場合も原則としてS1映像端子をおすすめします。
・ S映像端子のない機器の場合は、映像端子をお使いください。

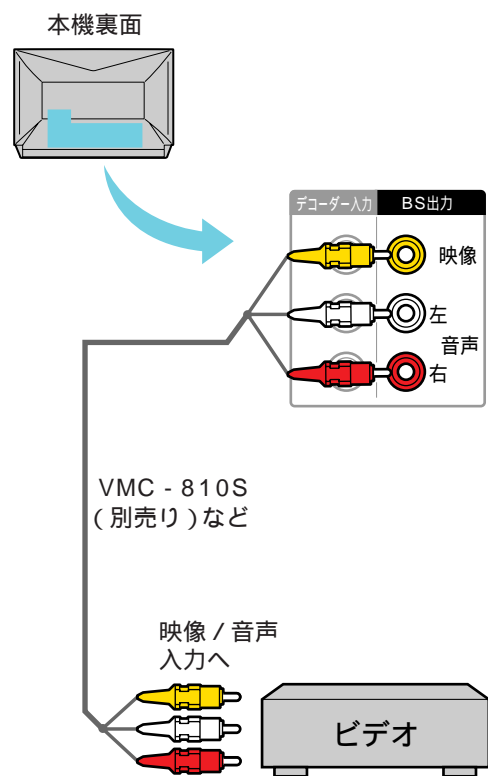
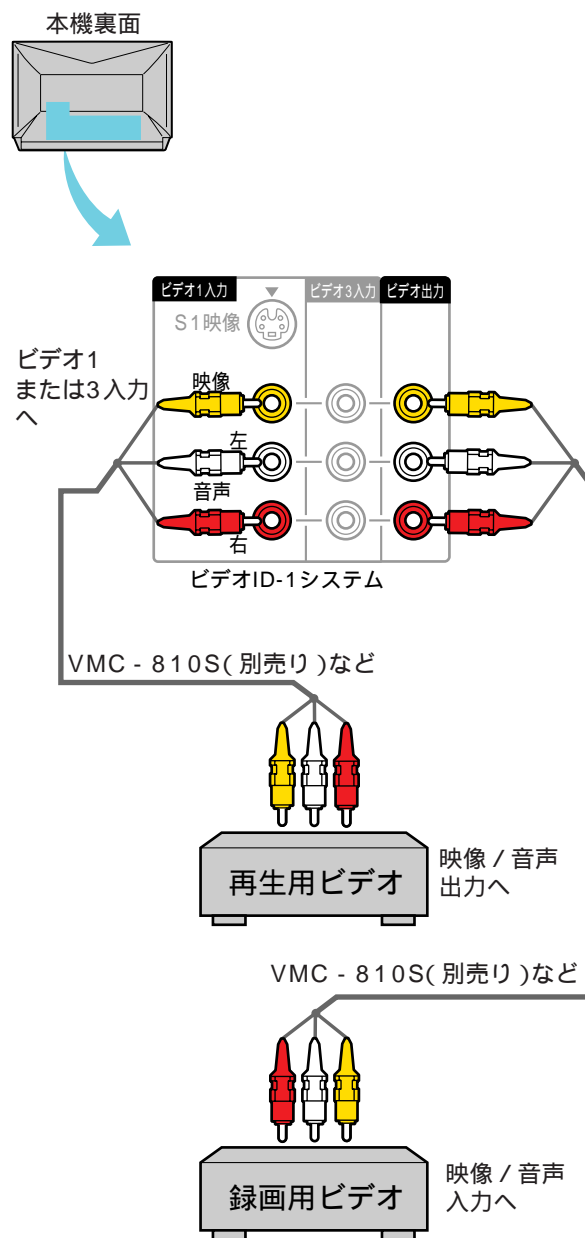
S1映像／映像の切り換え

S1映像端子と映像端子を同時に接続すると、S1映像端子につないだ機器の画像が優先されて映ります。映像端子につないだ機器の画像を見るときは、下の手順に従って「S映像」を「切」にしてください。

1 入力切換ボタンを押して設定したいビデオ入力を選ぶ。
2 メニューボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「各種切換」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／ーボタンを押して「S映像」を選び、決定ボタンを押す。
5 選択＋／ーボタンを押して「切」を選び、決定ボタンを押す。
6 メニューボタンを押してメニューを消す。

*のついた用語は用語集をご覧ください。☞66ページ

衛星放送を録画するための接続

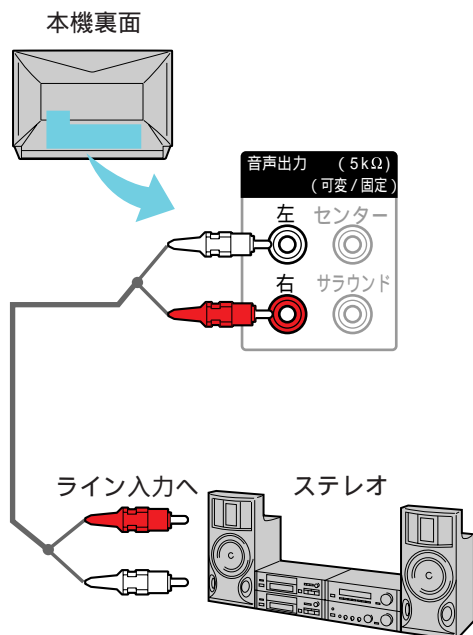
テレビのチューナー*を使ってBSを録画する場合は、以下のようにつないでください。

編集するときの接続

ご注意

1台のビデオ機器に、本機からの出力と入力の両方の端子を同時に接続しないでください。画像が乱れることがあります。

*のついた用語は用語集をご覧ください。☞66ページ

準備編

ステレオシステムをつなぐ

オーディオ機器を接続するには、音声出力（可変／固定）端子を使います。

接続したオーディオ機器で音量を調節するには

1 本体の設定ボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「音声設定」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「音声出力」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／ーボタンを押して「固定」を選び、決定ボタンを押す。

⚠注意

「音声出力」を「固定」に切り換えるときは、接続するオーディオ機器の音量を最小にしてから切り換えてください。「固定」になっているときは可変時の最大の音量が出力されます。

テレビのスピーカーの音声を切るには

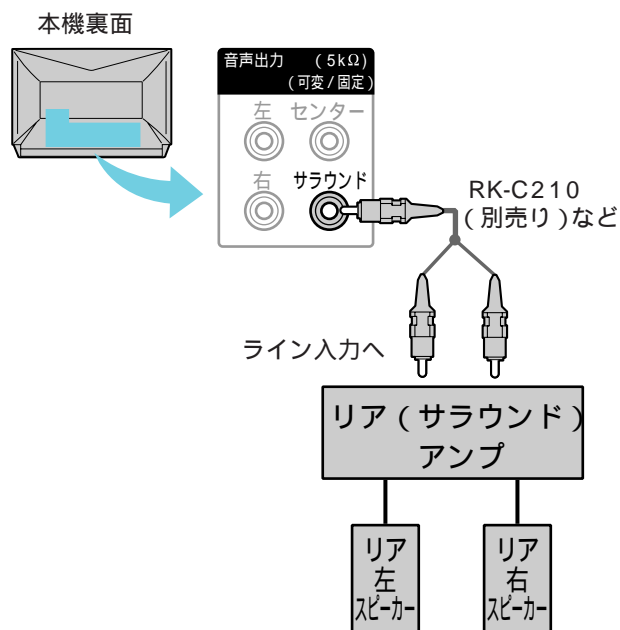
1 本体の設定ボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「音声設定」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「スピーカー」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／ーボタンを押して「切」を選び、決定ボタンを押す。

ハイビジョン放送／MUSE*の4chステレオ（3-1方式）を楽しむには

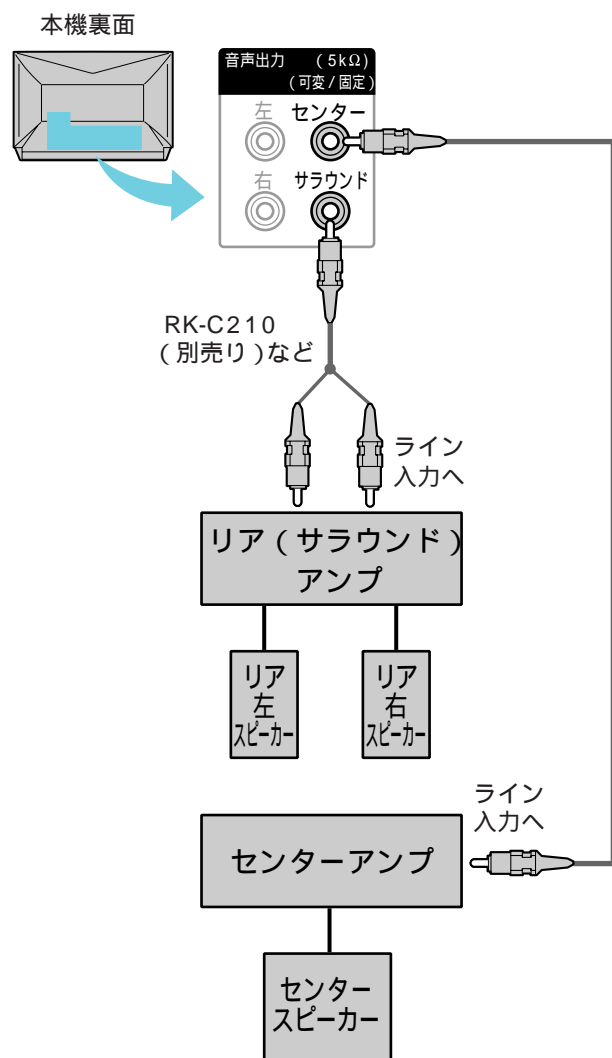
テレビの内蔵スピーカーのみで聴く

メニューで「MUSE音声モード：1」（お買い上げ時の設定）を選ぶと、センター及びサラウンド（リア）の音声がテレビの左右のスピーカーに合成されて出ます。☞40ページ。
テレビ本体だけでハイビジョンの音声を聴くことができます。

テレビの内蔵スピーカーとリア（サラウンド）スピーカーで聴くには

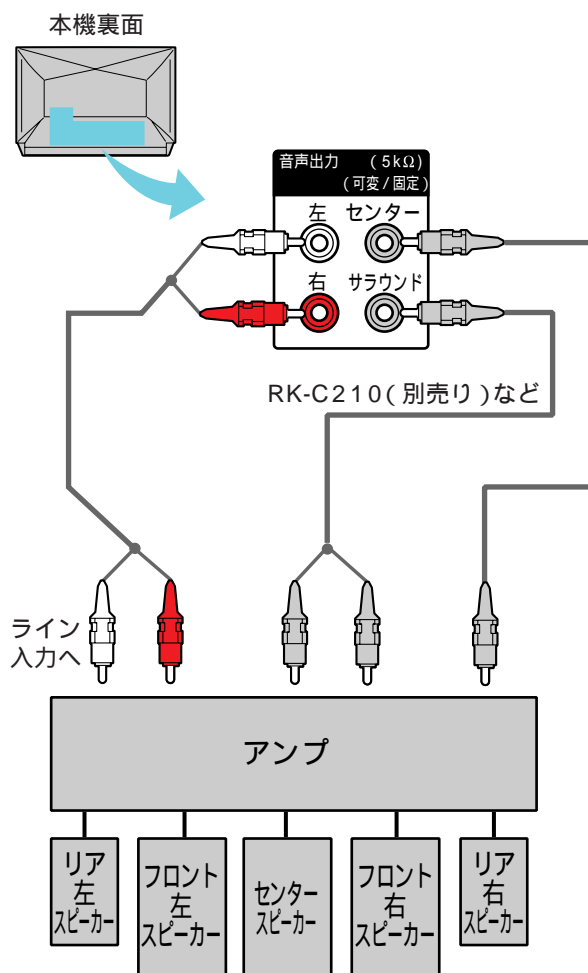
サラウンド効果をお楽しみいただくためには、別売りのリアスピーカーをつなぎメニューで「MUSE音声モード：2」を選びます。センター音声はテレビの内蔵スピーカーに合成して出力されます。☞40ページ。
メニューで「音声出力」を「可変」（お買い上げ時の設定）に設定しておくとテレビの音量を調節すると同時にリアスピーカーの音量も調整することができます。設置時にテレビの内蔵スピーカーとのレベル合わせをリアアンプ側のボリューム／アッテネーターで行ってください。

テレビの内蔵スピーカーとセンタースピーカー、リアスピーカーで聴くには

本格的なサラウンド効果をお楽しみいただくためには別売りのセンタースピーカー及びリア（サラウンド）スピーカーをつなぎ、メニューで「MUSE音声モード：3」を選びます。☞40ページ。

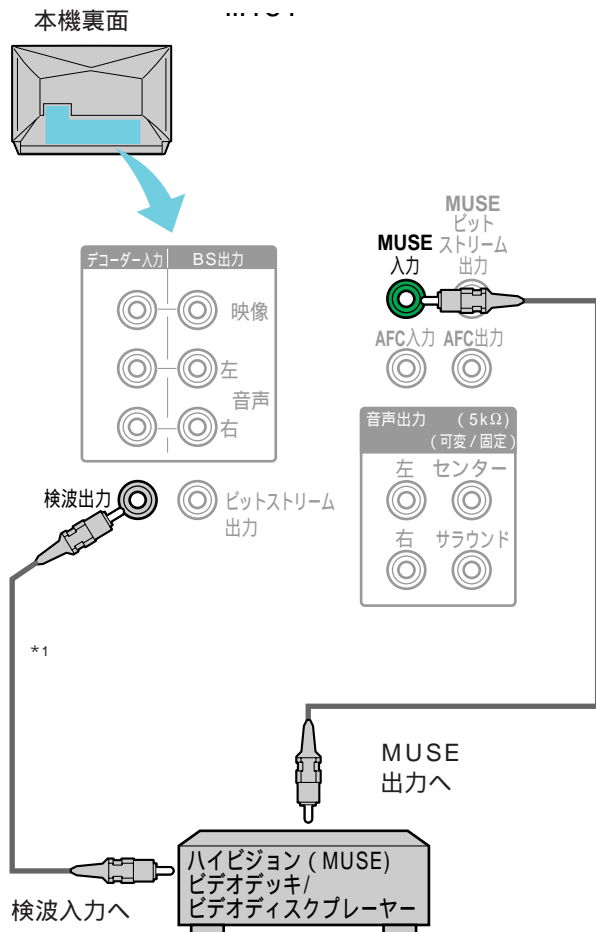
メニューで「音声出力」を「可変」に設定しておくとテレビの音量を調節すると同時にセンターおよびリアスピーカーの音量も調節することができます。設置時にテレビの内蔵スピーカーとのレベル合わせをセンター、リアアンプ側のボリューム／アッテネーターで行ってください。

フロント左／右、センター、リア（サラウンド）スピーカーで聴くには

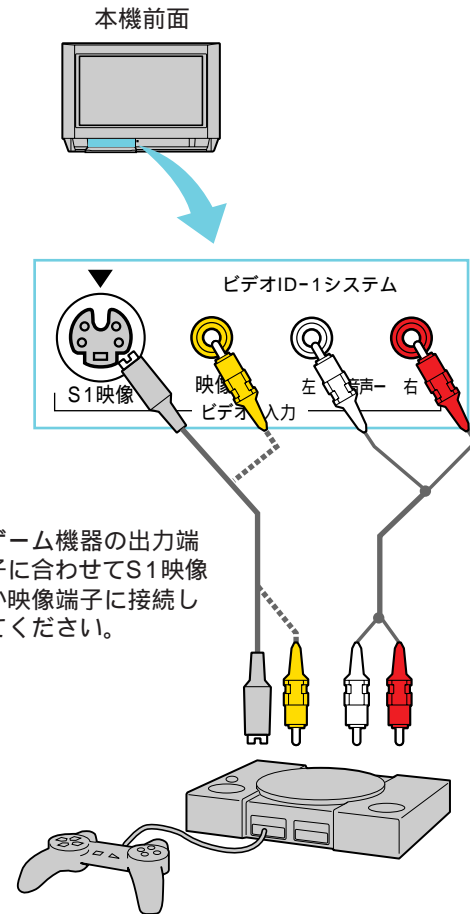
さらに臨場感のある音声をお楽しみいただく場合、またはテレビの映像をプロジェクターなどでご覧になる場合には、テレビのスピーカーの音声を切って、外部スピーカーでのみお聴きになることをおすすめします。メニューで「MUSE音声モード：3」（☞40ページ）及び「スピーカー：切」（☞58ページ）を選んでください。

*のついた用語は用語集をご覧ください。☞66ページ。

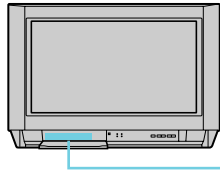
準備編

その他の機器をつなぐ

ハイビジョン（MUSE*）機器をつなぐ

ハイビジョン（MUSE）のビデオやレーザーディスクをつなぐことができます。

*1 ハイビジョン（MUSE）ビデオデッキを接続するときのみ必要な接続です。

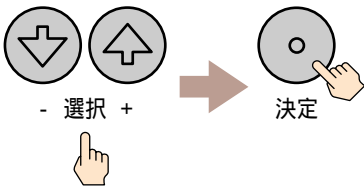
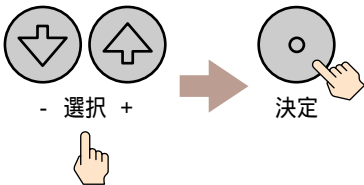
ゲーム機をつなぐ

ゲーム機器は本体裏面のビデオ1または3入力につなぐこともできます。

*の付いた用語は用語集をご覧ください。☞66ページ。

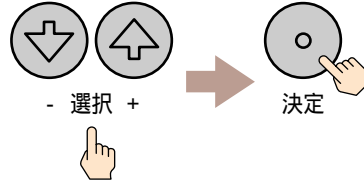
地磁気による画像の傾きを補正する

設置後、テレビの向きを決めたら、方角補正をしてください。地磁気の影響がなくなり、よりよい画面をお楽しみいただけます。

1 設定ボタンを押す

設定　終了
テレビ設定
ＢＳ設定
音声設定
▶初期設定

2 選択＋／−ボタンを押して「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。

3 選択＋／−ボタンを押して「方角補正」を選び、決定ボタンを押す。

初期設定　戻る
インデックス画面：13画面
文字番組登録初期化
ＶＭ：　入
▶方角補正：　0

4 選択＋／−ボタンを押して調整する。

画像を見ながら画面内の水平線がいちばん水平になるように調整します。
数値は−3〜＋3の範囲で変わります。

5 設定ボタンを押してメニューを消す。

ご注意

・高圧線の近くや鉄筋コンクリート造りの家などでは、うまく補正されないことがありますので、お買い上げ店にご相談ください。
・テレビの近くに大きなスピーカーがあると、うまく補正されません。スピーカーから離して設置してください。

故障かな？と思ったら

下記の項目のほかになんらかの異常がある場合、リモコンの元どおりボタンを押してみてください。右記以外の項目は、テレビがお買い上げ時の状態に戻ります。

・二重音声
・時計
・画質／音質モード
・二画面モードなど

テレビが映らない	■電源コードが外れていませんか？ ■テレビ本体の電源は入っていますか？
画像は出るが、音が出ない	■音量が下がりきっていませんか？ ■画面に「消音」の表示が出ていませんか？ ■メニューで「スピーカー：切」にしていませんか？（☞58ページ） ■ヘッドホンをつないでいませんか？
色がつかない、色がおかしい、画面が暗い	■画／音モードボタンを押してください。（☞34ページ） ■画質調整ボタンを押して調整してください。（☞35ページ）
画像が二重、三重になる	■アンテナ線がはずれかかっていませんか？山やビルで反射した電波がアンテナに飛び込み、画像が二重、三重になることがあります。 ■アンテナの位置、方向、角度を調整してください。 ■突然画像が二重、三重になった場合は、お買い上げ店などにご相談ください。
雪が降るような画面、うすい画面、風がふくとちらつく	■アンテナが風でこわれたり曲がったりしていませんか？ ■アンテナの寿命ではありませんか？通常3〜5年、海辺では1〜2年です。 ■アンテナ線がはずれていませんか？
斑点や点模様が走る	■ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波が原因です。アンテナはなるべく道路から離してください。
画像が傾く	■本体の設定ボタンで「方角補正」を選び調整してください。（☞61ページ）
特定のチャンネルだけが映らない	■チャンネルを合わせ直してみてください。（☞46ページ）
雑音が多い	■フィーダー線を使用していませんか？ ■メニューで「オートステレオ：切」にしてください。（☞39ページ）
リモコンの数字ボタンを押してもチャンネルが選べない	**ダイレクト選局の場合（☞48ページ）** ■ダイレクト／10キー選局が「ダイレクト」になっていますか？ **10キー選局の場合（☞48ページ）** ■ダイレクト／10キー選局が「10キー」になっていますか？ ■11チャンネルは①を2回、12チャンネルは①と②を続けて押しましたか？ ■最後に続けて⑫／選局を押しましたか？（スタンバイ／スリープランプ点灯中にチャンネル数字ボタンを押したときはチャンネル数字ボタンに続けて⑫／選局ボタンを押さないと、前回テレビを消したときのチャンネルが映ります。） **その他** ■リモコンの電池が消耗していませんか？

症状	確認事項
キャビネットから「ピシッ」というきしみ音が出る	■周囲の温度変化でキャビネットが伸縮するときに「ピシッ」という音が出ることがあります。故障ではありません。
電源を入れたときにブーンという音がする	■地磁気などの影響を取り除くために動作させる消磁回路の動作音です。故障ではありません。
テレビの電源を切った直後に、テレビの後ろからパチパチ音がする	■テレビ内部で発生する静電気が原因です。故障ではありません。
BS（衛星放送）が映らない／乱れている	**BSアンテナを直接つないでいる場合** ■メニューで「BS電源：オート」または「BS電源：連動」にしていますか？（☞51ページ） ■BSケーブルのコンバーター側は防水になっていますか？ ■アンテナの大きさは適切ですか？ ■アンテナの前方に障害物はありませんか？ ■アンテナの方向・角度を調整しましたか？（☞52ページ） **BSアンテナに分配器を使っている場合** ■コンバーター用電源を供給する機器のスイッチが「入」側になっていますか？ **マンションなどの共聴システムの場合** ■メニューで「BS電源：オート」または「BS電源：切」にしていますか？（☞51ページ） ■VHF/UHFとBSが一本のケーブルになっている場合、分波器を使っていますか？（☞50ページ） ■ケーブルの芯線は、コネクターに正しく入っていますか？ **その他** ■放送時間を確認してください。 ■雨や雪が降ると悪くなることがあります。 ■BS専用のケーブルを使っていますか？（☞50ページ） ■アンテナコネクター（バルーン）を使っていませんか？ ■メニューの「デコーダー入力切換」を切り換えていませんか？（☞53ページ）
BS（衛星放送）の画像は出るが音が出ない	■スクランブル*放送ではありませんか？
BS（衛星放送）のチャンネルが切り換わらない	■メニューで「BS録画固定：入」にしていませんか？（☞37ページ）
モジネットが受信できない	■時間帯や放送局によっては、モジネットを放送していない場合があります。
字幕が出ない	■字幕放送は送られていますか？（☞30ページ） メニューで「字幕放送」を「切」にしていませんか？（☞31ページ）
「コンバーター電源を確認してください」という文字がでたら	■テレビ裏面のBS IF入力につないだアンテナ線がショートしています。電源を切って、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。
ビデオを再生したとき画像が出ない	■S映像入力なのに、「S映像：切」にしていませんか？（☞56ページ）
つないだスピーカーから音が出ない	■メニューの「MUSE音声モード」は正しく選択されていますか？（☞40ページ）
つないだ機器の画像、音が出ない	■接続コードが外れていませんか？ ■リモコンの入力切換ボタンを押してみてください。

その他

*のついた用語は用語集をご覧ください。☞66ページ

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。ただし、ブラウン管代およびブラウン管の交換にともなう技術料、出張料は2年間無料です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを

➡「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ

➡お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

➡保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

➡修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。
保有期間が経過した後でも、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。
なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導によるものです。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名：KV-32FW5
故障の状態：できるだけくわしく
購入年月日：

お買い上げ店 TEL.
お近くのサービスステーション TEL.

This television is designed for use in Japan only and is not to be used in any other country.

主な仕様

システム

受信方式　NTSC方式
受信チャンネル　VHF 1～12チャンネル
UHF 13～62チャンネル
CATV C13～C35
BS1、3、5、7、9、11、13、15
ブラウン管*　HDトリニトロン、110度偏向32型
＊テレビの型（32型など）は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。
画面寸法　66.2×37.3、76cm
（幅×高さ、対角径）
使用スピーカー　8cm×2

入出力端子

アンテナ端子　VHF/UHF、BS IF 75Ω F型コネクター
（コンバーター用電源出力、DC15V最大4W）
音声出力　ピンジャック、4チャンネル
0～500mVrms（音声可変、100％変調時）
出力インピーダンス 5kΩ以下
ビデオ1、2、3入力端子
S1映像（ビデオ1、2入力のみ）：4ピンミニDIN
Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
C：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω
映像：ピンジャック、1Vp-p、
75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル、
500mVrms、インピーダンス 47kΩ
ビデオ出力端子　映像：ピンジャック、1Vp-p、
75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル、
500mVrms、インピーダンス 5kΩ以下
ヘッドホン端子　ステレオミニジャック
負荷インピーダンス16Ω以上
BS出力端子　映像：ピンジャック、1Vp-p、
75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル、標準出力レベル 250mVrms（FS-18dB時）、出力インピーダンス 5kΩ以下
検波出力端子　ピンジャック、75Ω、0.67Vp-p
ビットストリーム出力端子
ピンジャック、75Ω、0.5Vp-p
デコーダー入力端子
映像：ピンジャック、1Vp-p、
75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル、標準入力
250mVrms、インピーダンス47kΩ以上
AFC入／出力端子　ピンジャック、75Ω、0.5Vp-p
出力インピーダンス 75Ω
MUSE入力端子　0.4Vp-p（FM）、0.8Vp-p（AM）
入力インピーダンス 75Ω
MUSEビットストリーム出力端子
ピンジャック、75Ω、0.5Vp-p

電源部・その他

消費電力　159W
（リモコン待機時2.7W「文字メモリー：切」時）
（リモコン待機時8.3W「文字メモリー：入」時）
年間消費電力量**　244kW·h／年
＊＊年間消費電力量とは：省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（4～5時間）を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

最大外形寸法　88.8×58.2×57.6cm
（幅×高さ×奥行き）
質量　約64.5kg
電源　AC100V、50/60Hz
付属品　リモートコマンダー　RM-J208（1）
乾電池　単3型（1）
アンテナコネクター（1）
取扱説明書（1）
保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）
安全のために（1）
安全点検のおすすめ（1）

別売りアクセサリー

テレビスタンド　SU-32S1
SU-32V
ビデオトレイ　SU-100TR
ステレオヘッドホン　MDR-AV55
MDR-IF410K
テレビラック固定ベルト
BLT-R10
BSアンテナなど
接続ケーブルなど

・このテレビは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
・仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

用語集

ID-1方式（ビデオ ID-1システム）
ビデオ信号の一部にデジタルのID記号を加算することにより画面の縦横比（16：9、4：3またはレターボックス）の情報を記録するシステムの名称です。本機はID-1方式に対応しています。

アンテナレベル
アンテナから入ってくる電波の強さです。天候や気温、時間帯、アンテナケーブルの長さなどによって影響を受けます。

Aモード
BSで送信される音声の種類のひとつ。音質はFM放送なみです。4チャンネルのうち2チャンネルを使って独立音声が放送されることがあります。
サンプリング周波数：32kHz
量子化：14/10ビット　準瞬時圧伸方式

S-1方式（S1映像）
S映像のC端子へ直流5Vを重畳することにより画面の縦横比（16：9または4：3）の情報を記録するシステムの名称です。本機はS-1方式に対応しています。

検波
衛星から送られてきた信号そのものを取り出すことです。検波信号を処理して、映像・音声に変換しています。

三次元Y/C分離回路
本機内部にある回路で、映像信号を構成するY信号とC信号を別々に処理し、より鮮明な画像を再現します。

シネマスコープサイズ
映像ソフト画面の縦横比が1：2.35になっているものをこのように呼びます。ビスタサイズよりも横長になります。一般的には黒帯に字幕の入る映画などの画像サイズです。

スクランブル
映像、音声の信号を暗号化することです。民間衛星放送などでは、契約者以外には視聴できないように、電波にスクランブルをかけて（暗号化して）送信しています。スクランブルのかかった放送を視聴するためには、解読器（デコーダーなど）が必要です。

チューナー
電波を受け入れて各チャンネルに合わせるための機器です。
本機はテレビチューナーおよびBSチューナーを内蔵しています。

デコーダー
スクランブルのかかったBS放送などのスクランブルを解除して視聴するための解読器です。

独立音声放送
BSでは、ひとつのチャンネルでテレビ画面の音声とは別の、音声だけの放送が送られている場合があります。これが独立音声放送です。

ハイビジョン実用化試験放送
1996年9月現在、BS9チャンネルではMUSE方式ハイビジョン実用化試験局による放送が行われています。

Bモード
BSで送信される音声の種類のひとつ。CDなみの高音質が楽しめるので、音楽番組などで使われています。
サンプリング周波数：48kHz
量子化：16ビット　直線量子化

ビットストリーム
衛星放送の電波で送られてくるデジタル信号です。音声とデータがデジタル化されています。

ビスタサイズ
映像ソフト画面の縦横比が1：1.85になっているものをこのように呼びます。一般的には画像の中に字幕が入っている映画などの画像サイズです。

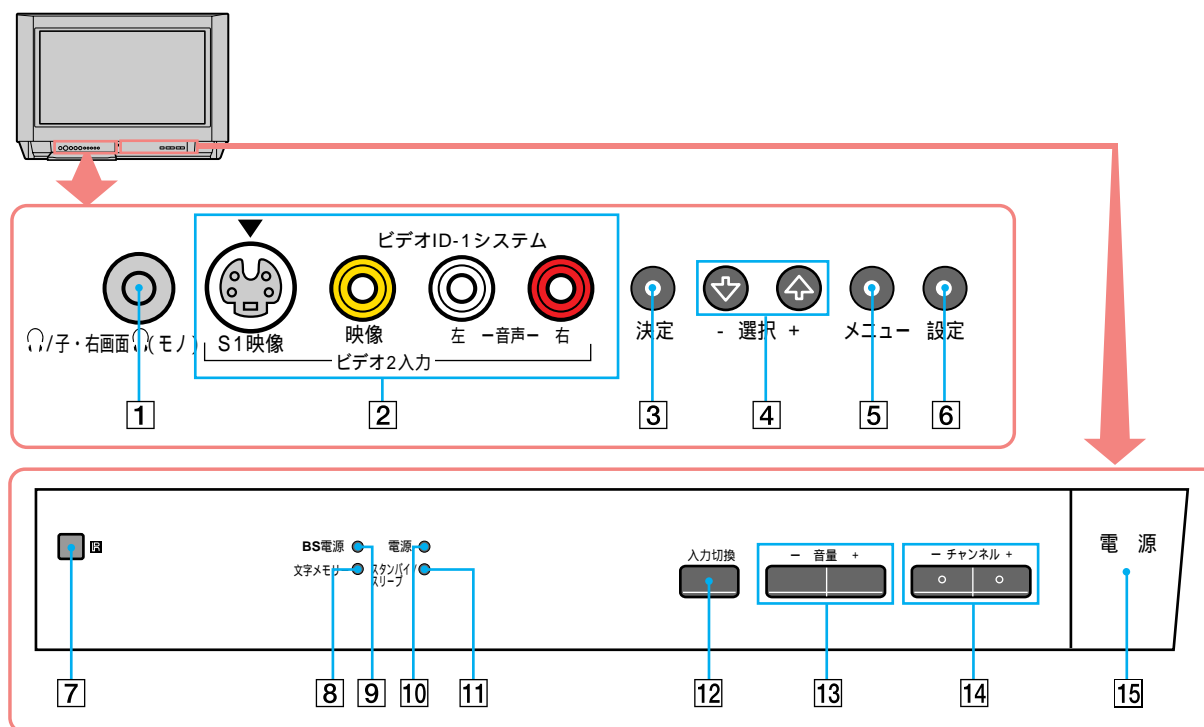
偏波
衛星放送の電波の流れの型です。
BSは円偏波です。

MUSE
ハイビジョンの帯域圧縮伝送方式です。27MHzのハイビジョンの信号を8MHzに圧縮して、衛星放送の1チャンネル分で送れるようにしています。

MUSE-NTSCコンバーター
MUSE方式のハイビジョン放送を現行放送方式（NTSC）に変換するための機器です。画質は現行放送方式（NTSC）と同等になります。
本機はMUSE-NTSCコンバーターを内蔵しています。

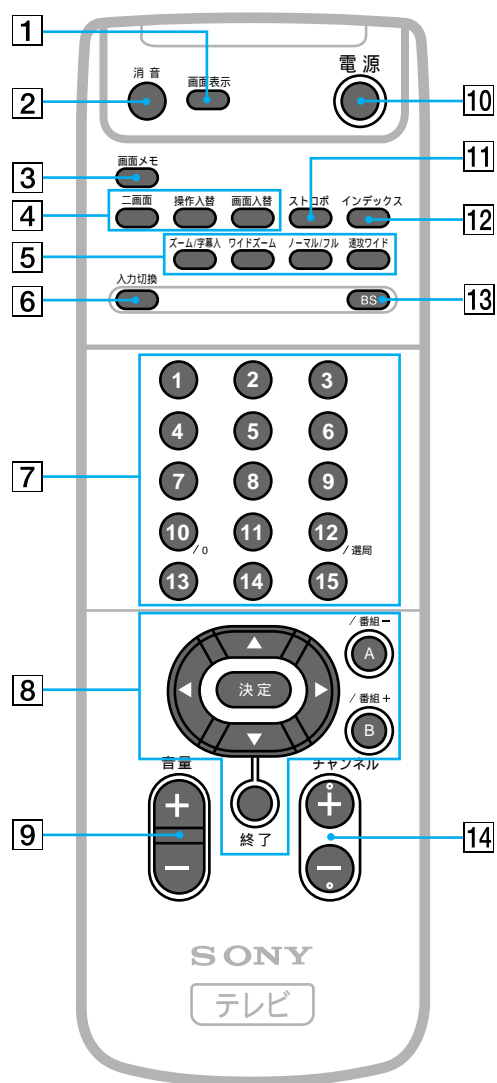
モジネット
文字やイラストで構成されたテレビ番組。モジネットを受信するには、モジネットをデコード（解読）する機能が必要です。
本機はモジネットを手軽に楽しむことができます。

各部の名前／Identification of controls

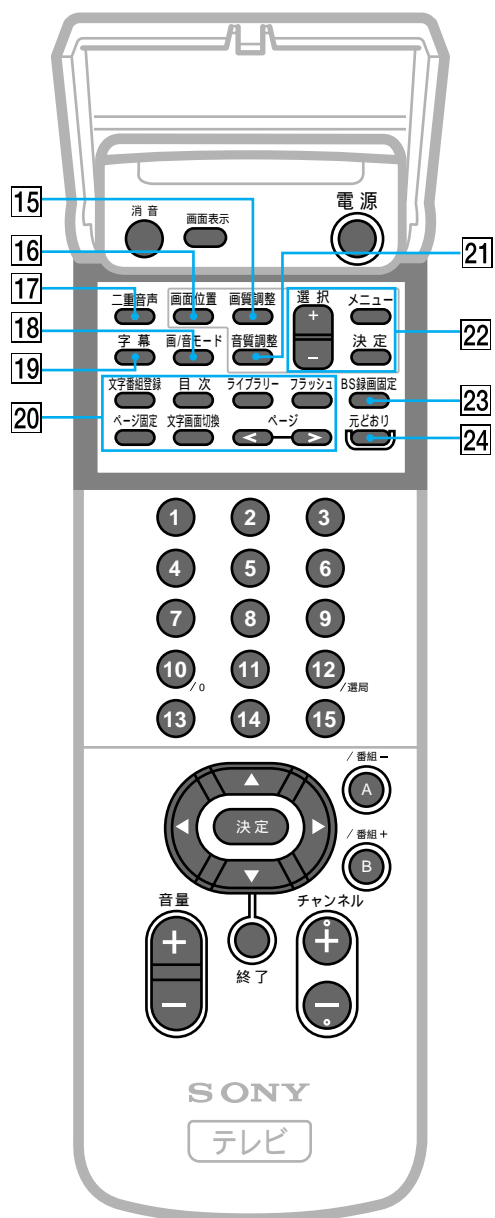
本体前面／TV Front Panel

1 ヘッドホン端子☞12ページ
2 ビデオ2入力端子☞60ページ
　S1映像端子
　映像端子
　音声（左）端子
　音声（右）端子
3 決定ボタン
4 選択＋／ーボタン
5 メニューボタン
6 設定ボタン☞46ページ
7 リモコン受光部
8 文字メモリーランプ☞24ページ
9 BS電源ランプ☞38ページ
10 電源ランプ☞2ページ
11 スタンバイ／スリープランプ☞2ページ
12 入力切換ボタン
13 音量＋／ーボタン☞2ページ
14 チャンネル＋／ーボタン☞2ページ
15 電源スイッチ☞2ページ

1 Headphones jack page 12
2 VIDEO 2 input jacks page 60
　S1 -Video jack
　Video in jack
　Audio-L jack
　Audio-R jack
3 Enter button
4 Select +/ー buttons
5 Menu button
6 Preset button page 46
7 Remote Control sensor
8 Text Memory indicator page 24
9 BS (Broadcast Satellite) Power indicator page 38
10 Power indicator page 2
11 Standby/Sleep indicator page 2
12 Input Select button
13 Volume +/ー buttons page 2
14 Channel +/ー buttons page 2
15 Power switch page 2

つづく

各部の名前／Identification of controls（つづき）

リモコン／Remote Control

1 画面表示ボタン☞3ページ
2 消音ボタン☞3ページ
3 画面メモボタン☞18ページ
4 二画面操作部☞10ページ
5 ワイド画面操作部☞4ページ
6 入力切換ボタン☞32ページ
7 チャンネル数字ボタン☞14ページ
8 モジネット操作部☞19ページ
9 音量＋／－ボタン
10 電源スイッチ☞3ページ
11 ストロボボタン☞17ページ
12 インデックスボタン☞14ページ
13 BSボタン☞2、33ページ
14 チャンネル＋／－ボタン☞3ページ

1 Display button page 3
2 Muting button page 3
3 Screen Memo button page 18
4 Twin Picture Operation buttons page 10
5 Wide Mode Select buttons page 4
6 Input Select button page 32
7 Channel Number buttons page 14
8 Teletext Operation buttons page 19
9 Volume +/ー buttons
10 Power switch page 3
11 Strobe button page 17
12 Index button page 14
13 BS (Broadcasting Satellite) button pages 2、33
14 Channel +/ミ buttons page 3

リモコン扉内／Inside of the panel

15 画質調整ボタン☞35ページ
16 画面位置ボタン☞8ページ
17 二重音声ボタン☞39ページ
18 画／音モードボタン☞34ページ
19 字幕ボタン☞30ページ
20 モジネット操作部☞19ページ
21 音質調整ボタン☞36ページ
22 メニューボタン☞6ページ
選択＋／ーボタン☞6ページ
決定ボタン☞6ページ
23 BS録画固定ボタン☞38ページ
24 元どおりボタン☞62ページ

15 Picture Adjust button page 35
16 Picture Position button page 8
17 Audio Mode (Bilingual) button page 39
18 Picture/Sound Mode button page 34
19 Subtitle button page 30
20 Teletext Operation buttons page 19
21 Sound Adjust button page 36
22 Menu button page 6
Select +/− buttons page 6
Enter button page 6
23 BS recording button page 38
24 Reset button page 62

索引

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 変なにおいや音がしたら
- 内部に異物が入ったら
- 音は出るが画面が映らないときは
- テレビを落としたり、キャビネットを破損したときは

➡

❶ 電源を切る

❷ 電源プラグをコンセントから抜く

❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311●名古屋(052)232-2611●大阪(06)539-5111

Printed in Japan